

サービス マニュアル

半密閉式ペレットストーブ

MCZシリーズ

CLUB
STAR
TOBA

TOYOTOMI

目 次

SECTION 1: 構造・基本原理

構造・基本原理	1
---------	---

SECTION 2: 仕様・外観・内部構造・

2-1)[CLUB]

仕様・外形図	2
内部構造図	2

2-2)[STAR]

仕様・外形図	3
内部構造図	3

2-3)[TOBA]

仕様・外形図	4
内部構造図	4

2-4配線図 (CLUB・STAR・TOBA)

配線図220V仕様

配線図115V仕様

SECTION3:運転方法

3-1)[CLUB]運転方法	7～14
----------------	------

3-2)[STAR]運転方法	15～21
----------------	-------

3-3)[TOBA]運転方法	22～23
----------------	-------

SECTION 4: トラブルシューティング

エラーコード	24
--------	----

トラブルシューティング	25～27
-------------	-------

SECTION 5: 分解方法 その他

5-1)分解方法 (代表機種CLUB)	28～32
---------------------	-------

5-2)分解図

「CLUB」	33
「STAR」	34
「TOBA」	35

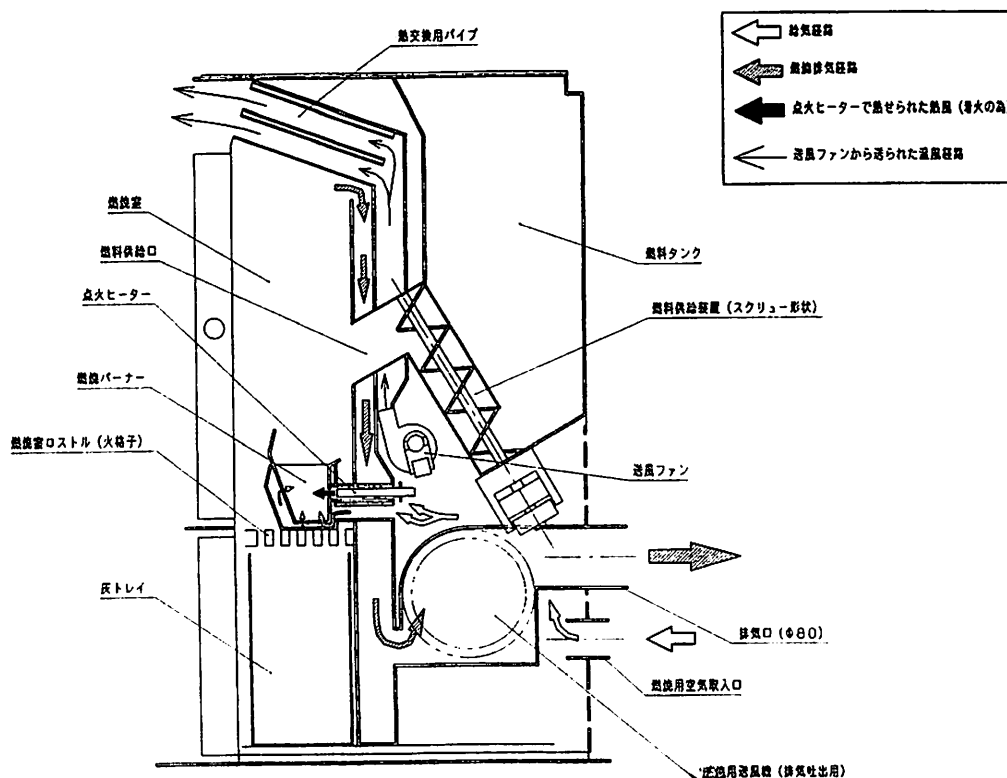
5-3)本体排気経路の清掃方法について	36～38
---------------------	-------

5-4)CLUB系セラミックパネルの付け方	39～40
-----------------------	-------

5-5)TOBAパネル部 組立方法	41～43
-------------------	-------

SECTION 1: 基本構造・動作原理

ペレットストーブ構造例



- ① 運転スイッチをONにすると、燃料供給装置(スクリュー形状)と燃焼用送風機(排気用ファン)が回転し、燃料供給口から木質ペレットが燃焼バーナーに供給されます。
- ② 点火ヒーターで熱せられた熱風を木質ペレットに吹き付けることで着火をおこないます。
- ③ 5～10分程度で着火しますがバーナーや燃料の状態、室温条件等によって時間にばらつきが生じます。予備燃焼時間経過時に排気温度センサーが規定温度(50℃)まで上昇していると本燃焼に移行し、点火ヒーターへの通電を停止します。規定温度まで上昇しなかった場合は着火ミス警報が発生し運転が停止します。予備燃焼時間は約15分です。

※使い始めは、燃料タンクから燃焼バーナーまでの経路に木質ペレットが充填されていないため、しばらくバーナーへ燃料が供給されず正常に着火できない場合がありますが、その際は一旦運転スイッチを押してOFFにした後、もう一度運転スイッチを押して再運転させてください。

- ④ 本燃焼に入ると対流用の送風ファンによって熱交換用部で熱交換された温風が室内に供給されます。燃焼経路については、運転中の燃焼室は常に負圧となり、燃焼用送風機(排気ファン)の回転によって排ガスを室外へ強制的に排気します。
- ⑤ 燃焼中に運転スイッチを押すと燃料供給を停止し消火動作に入ります。燃焼バーナー内に残留したペレット燃料が燃え尽きて消火するまでに約5分～10分を要します。また、消火後もしばらくの間は送風ファンと燃焼用送風機(排気用ファン)が回り続け本体を冷却します。ファン停止までの時間は燃焼停止動作後約30分ですが、ある一定温度まで下がればファンは自動で停止します。

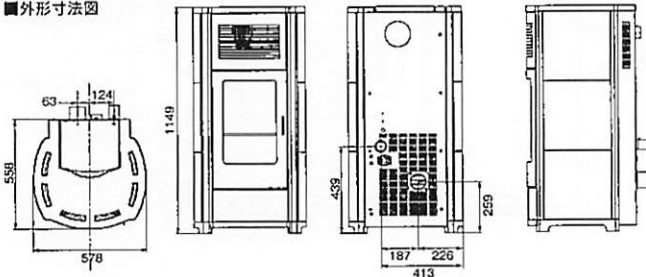
SECTION 2: 仕様・外形図・内部構造図・配線図

2-1) CLUB

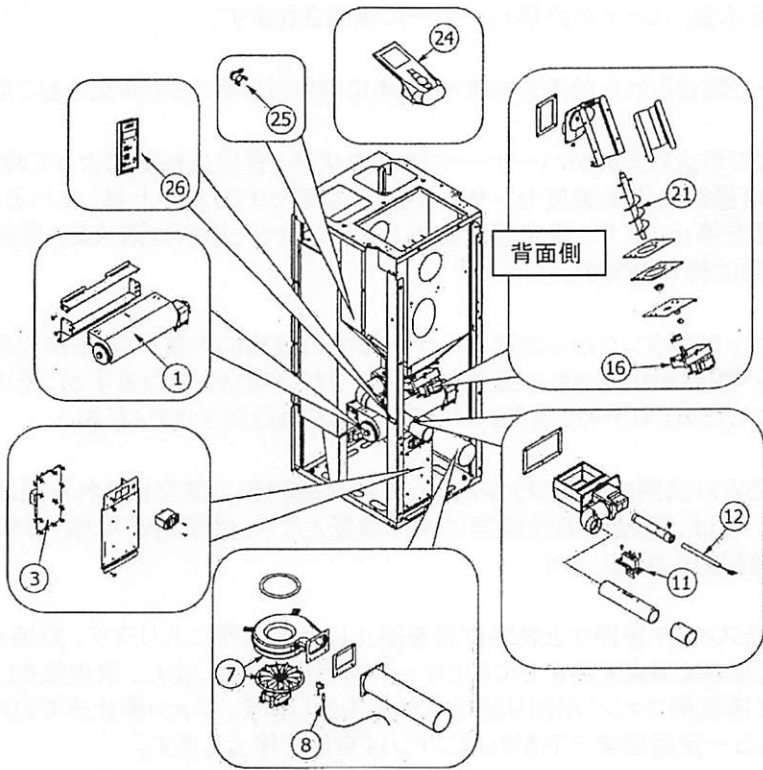
仕様・外形図

CLUB	
区分	半密閉式ペレットストーブ
種類	強制排気形、強制対流形
使用燃料	木質ペレット(ホワイトペレット)
点火方法	電気点火(温風点火式)
熱効率	94%
暖房のめやす	10～38㎡(6～23畳) [木造] 13～51㎡(8～31畳) [コンクリート]
燃料消費量	0.6～2.0kg/h
外形寸法	幅578mm、高さ1,149mm、奥行き558mm
質量	160kg
電源電圧	AC100V
定格消費電力	80W(点火時のみ420W)
安全装置	点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、過熱防止装置、電機安全装置、故障時安全装置、空気流量監視装置
排気口径	φ80

■外形寸法図



内部構造図



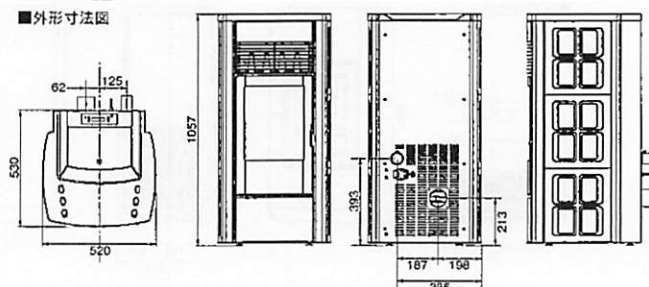
NO.	部品名	NO.	部品名	NO.	部品名
1	対流用ファン	11	空気量センサー	24	リモコン
3	コントローラ	12	点火ヒーター	25	ハイリミットスイッチ110℃
7	排気ファン	16	オーガモータ	26	操作部
8	排気温度センサー	21	オーガ(スクリュウ)		

2-2) STAR

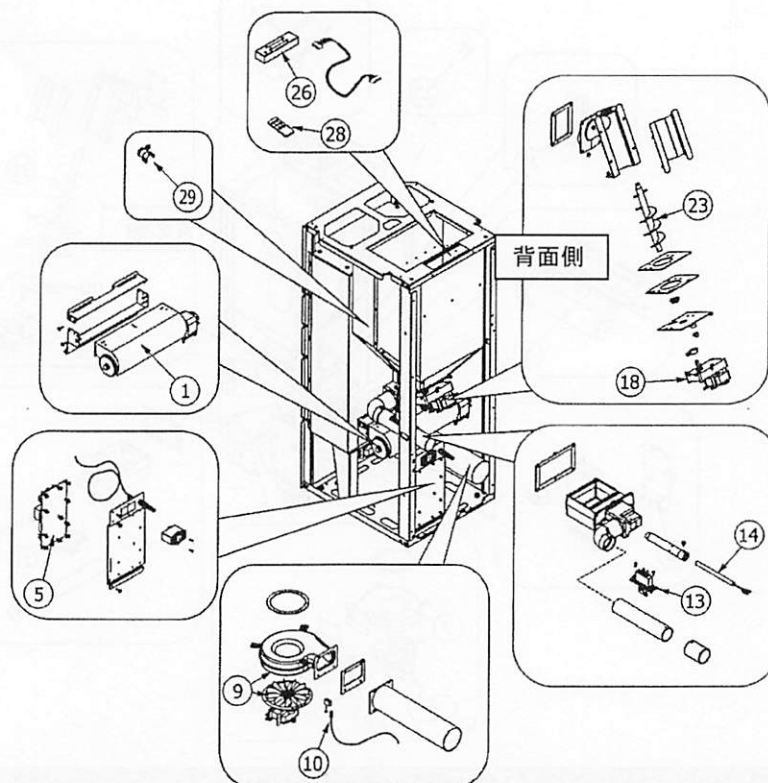
仕様・外形図

STAR	
区分	半密閉式ペレットストーブ
種類	強制排気形、強制対流形
使用燃料	木質ペレット(ホワイトペレット)
点火方法	電気点火(温風点火式)
熱効率	94%
暖房のめやす	10~32㎡(6~19畳) [木造] 13~43㎡(8~26畳) [コンクリート]
燃料消費量	0.6~1.8kg/h
外形寸法	幅520mm、高さ1,057mm、奥行き530mm
質量	135kg
電源電圧	AC100V
定格消費電力	80W(点火時のみ420W)
安全装置	点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、過熱防止装置、電機安全装置、故障時安全装置、空気流量監視装置
排気口径	φ80

■外形寸法図



内部構造図



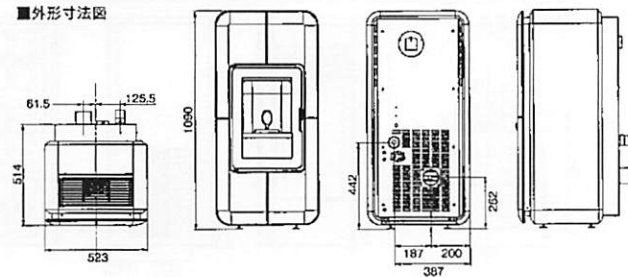
NO.	部品名	NO.	部品名	NO.	部品名
1	対流用ファン	13	空気量センサー	26	操作部
5	コントローラ	14	点火ヒーター	28	リモコン
9	排気ファン	18	オーガモータ	29	ハイリミットスイッチ110°C
10	排気温度センサー	23	オーガ(スクリュウ)		

2-3) TOBA

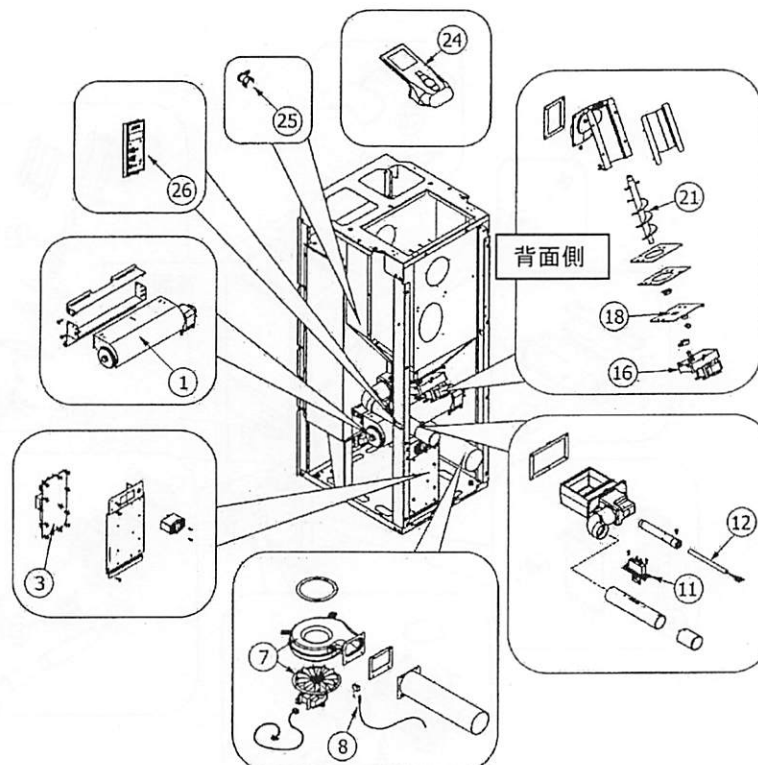
仕様・外形図

TOBA	
区分	半密閉式ペレットストーブ
種類	強制排気形、強制対流形
使用燃料	木質ペレット(ホワイトペレット)
点火方法	電気点火(温風点火式)
熱効率	92%
暖房のめやす	10~32㎡(6~19畳) [木造] 13~43㎡(8~26畳) [コンクリート]
燃料消費量	0.6~1.8kg/h
外形寸法	幅523mm、高さ1,090mm、奥行き514mm
質量	140kg
電源電圧	AC100V
定格消費電力	80W(点火時のみ420W)
安全装置	点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、過熱防止装置、電機安全装置、故障時安全装置、空気流量監視装置
排気口径	φ80

■外形寸法図



内部構造図



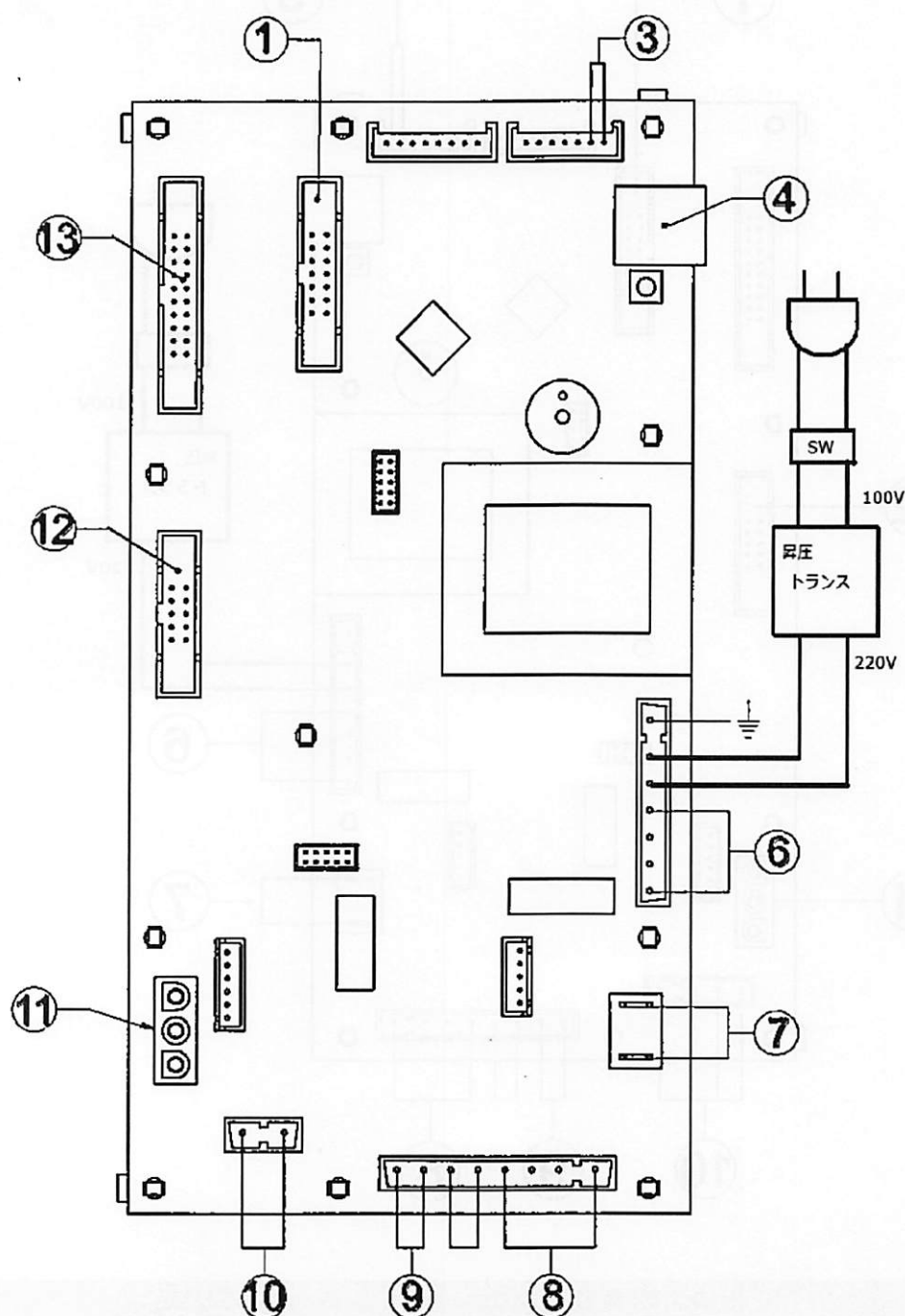
NO.	部品名	NO.	部品名	NO.	部品名
1	対流用ファン	11	空気量センサー	24	リモコン
3	コントローラ	12	点火ヒーター	25	ハイリミットスイッチ110°C
7	排気ファン	16	オーガモータ	26	操作部
8	排気温度センサー	21	オーガ(スクリュー)		

配線図 (CLUB、STAR、TOBA共通) 220V仕様品

※主として50Hz地区に使用。(2014年までは50Hz・60Hz地区共用)

機器背面にシリアル無し、又はシリアルナンバー型式が以下のものが該当します。

- ・シリアルナンバー無し
- ・CLUB: PL-CL
- ・STAR: PL-ST
- ・TOBA: PL-TO



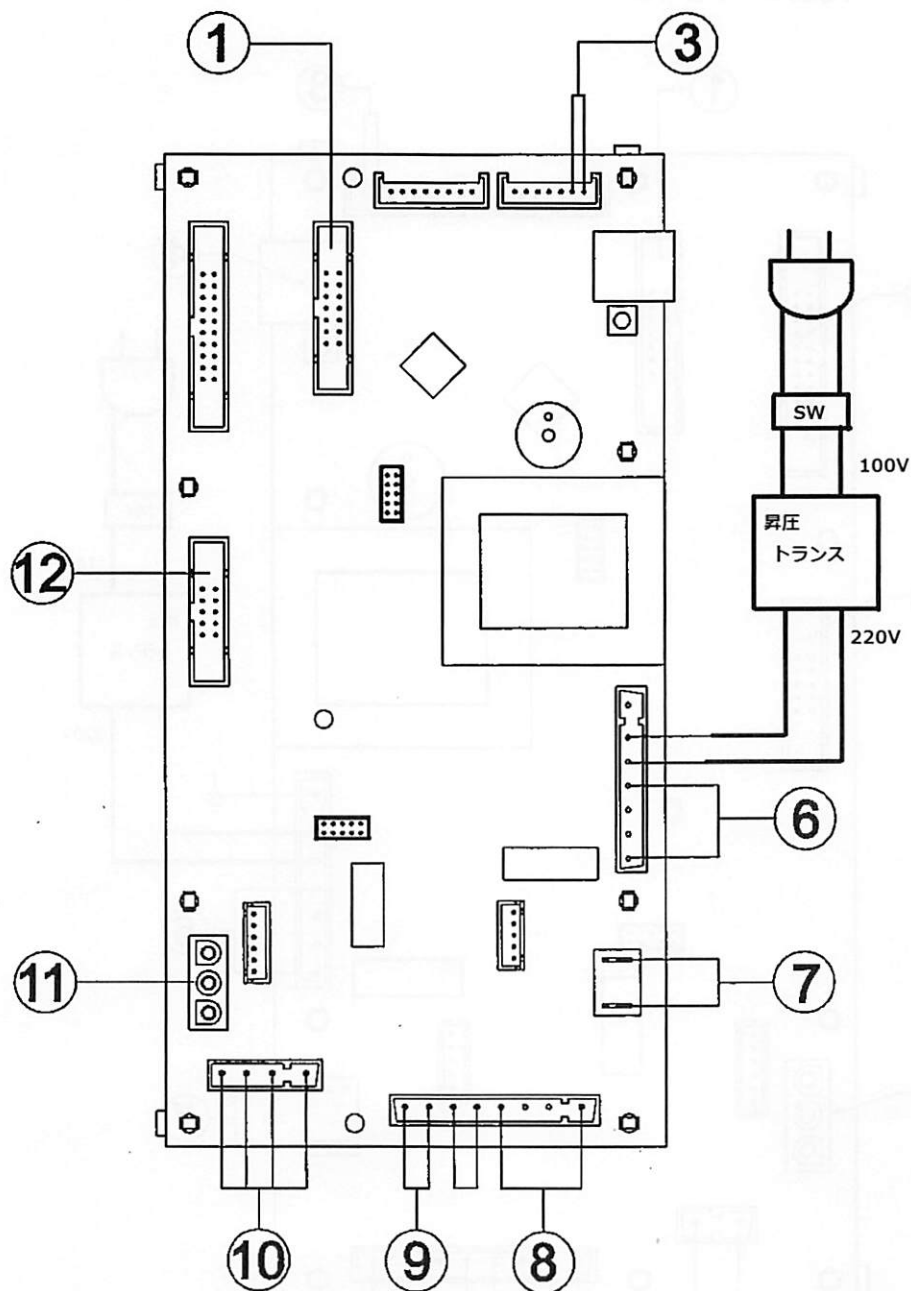
NO.	部品名	NO.	部品名	NO.	部品名
1	操作部	7	排気ファン (黒-黒)	10	対流用ファン (赤-赤)
3	排気温度センサー	8	オーガモータ	11	排気ファン回転数出力 (赤・青・黄)
6	点火ヒーター (黒-黒)	9	ハイリミットスイッチ110℃ (白-白)	12	空気量センサー

配線図 (CLUB、STAR、TOBA共通) 115V仕様品

※60Hz地区専用品

(機器背面に貼付のシリアルナンバー型式が以下のものが該当します。)

- CLUB: PL-CL-WE
- STAR: PL-ST-WE
- TOBA: PL-TO-WE



NO.	部品名	NO.	部品名	NO.	部品名
1	操作部	7	排気ファン (黒-黒)	10	対流用ファン (赤-赤)
3	排気温度センサー	8	オーガモータ	11	排気ファン回転数出力 (赤・青・黄)
6	点火ヒーター (黒-黒)	9	ハイリミットスイッチ110℃ (白-白)	12	空気量センサー

点火前の準備と確認

お願い

- 燃料タンクは空にしないでください。
タンクが空になるまで燃焼させるとすの発生や燃焼不良の原因になります。
- 設置後初めての使用するとき、または燃料を切らし燃料を補充して再点火操作したときなどは、「燃料供給口」から燃料がでてくることを確認してください。

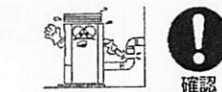
1 ストープ周辺を確認する。

- ストープ周辺及び排気筒の周囲に引火物や可燃物を置かないでください。
火災や予想しない事故の原因になります。



2 給気筒・排気筒が接続されているか確認する。

- 給気筒・排気筒が正しく接続されているか確認してください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、大変危険です。
一旦リモコンの「運転スイッチ」を「切」にして、正しく接続し直してから再度「入」にしてください。
(もしくは本体側面の操作表示部の「手動運転スイッチ」を「OFF」にしてから、再度「ON」にしてください。)



3 燃料が入っているか確認する。

- 燃料タンク内には木質ペレット以外の固形燃料やガソリンなどの液体燃料を絶対に入れないでください。
- 木質ペレット以外の固形燃料は絶対に使用しないでください。
故障や燃焼不良の原因になります。
- 推奨以外の燃料の使用はストープに支障をきたす場合があります。
- 長期間使用しなかった燃料が燃料タンクに残っていた場合、湿気を含んでいることがありますので、除去してから新しい燃料に入れ替えてください。



4 燃焼室扉開閉用器具を燃焼室扉ロックに取り付け、燃焼室扉を開く。

- 同梱の燃焼室扉開閉器具を右図のように取り付けます。
- 器具を手前に引き、燃焼室扉を開きます。



5 燃焼室内を確認する。

- 燃焼室内に異物がないか、また極度の汚れや灰がないかを確認してください。燃焼バーナーの穴が詰まっていないかを確認し、燃焼バーナーを燃焼バーナー受けに正しく取り付けてください。



6 燃焼室扉を閉める

- 4項で開いた燃焼室扉を器具で扉を押しながら閉めてください。



7 燃焼室扉が閉まっているか確認する。

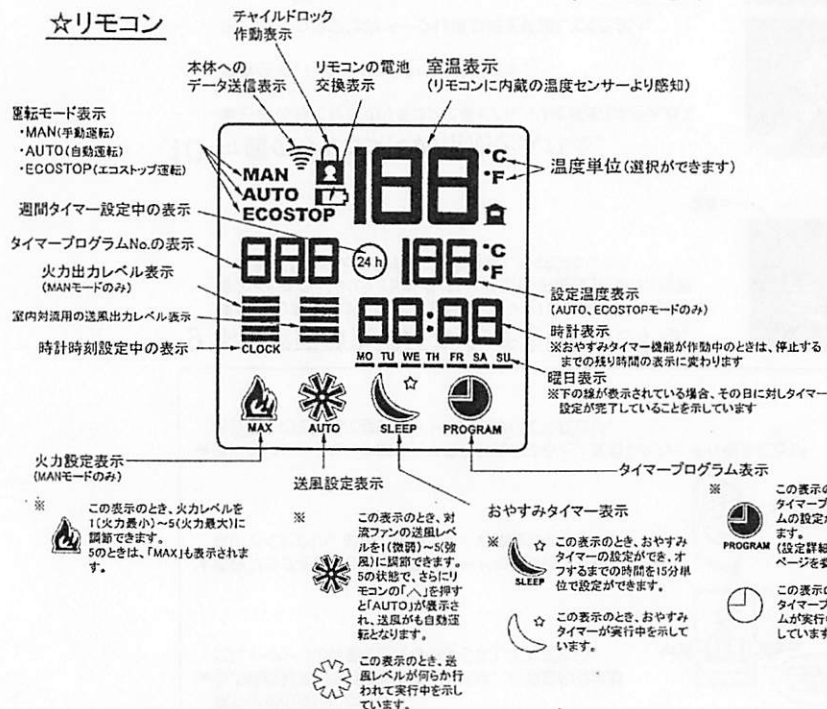
- 燃焼室扉を確実に閉めてください。
- 外れ、すき間があると点火不良、燃焼不良を起こしたり、運転中に排ガスや炎が室内に漏れて火災が発生する恐れがあります。



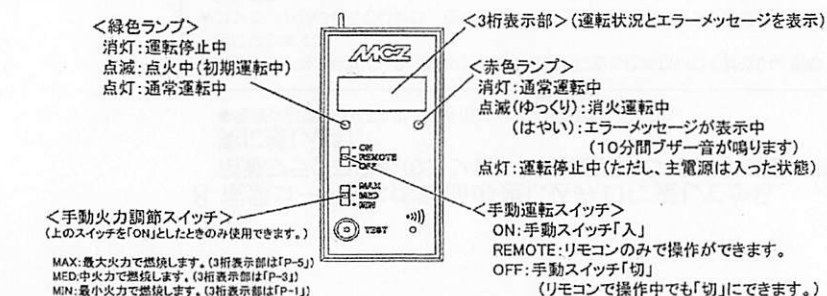
操作表示部 (リモコンと、本体側面の手動操作部)

※リモコンの操作方法は、12ページを参照してください。

☆リモコン



☆本体側面の手動操作部



注意) リモコンを使用してお使いになる際は、必ず本体側面の操作表示部の「REMOTE」位置にセットしてください。

8 電源コードを本体背面の差し込み口に差し込んでから、電源プラグを電気コンセント(家庭用AC100V)に確実に差し込む。

●電源は必ず100V 7A以上の専用コンセントをお使い下さい。



お願い

★電源プラグを、絶対に、200ボルトのコンセントに差し込まないでください。感電・火災・故障の原因になります。

★コンセントがゆるんでいたり、差し込みが不十分だと、電源プラグが過熱し、熱変形することがあります。

このようなときは、必ずお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

お部屋のコンセントも必ず修理してください。

★電源コードに傷を付けたり、束ねたり、折ったり、重い物をのせたり、加工しないでください。感電や火災の原因になります。

★他の電気器具と同時に使用するとき、ご家庭の安全器(ブレーカー)の容量をこえないようにしてください。



禁止

★電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないでください。断線、発熱、発火の原因になります。



禁止

★熱に弱いじゅうたんや床の上で長時間使用すると、変色したり、そり返ることがありますので、熱に強いマットなどを敷いてください。



注意

9 本体背面の主電源スイッチを「I」にする。

- 本体の背面にあります主電源スイッチを「O」から「I」にします。
- スイッチのバックライトが点灯し、側面の手動操作部の3桁表示部が「OFF」と表示することを確認してください。



電源コード 主電源スイッチ

10 付属のリモコンに乾電池を入れる。

- 右図の様に付属のリモコンに単4アルカリ乾電池3本を入れてください。
- 青色のバックライトが着けば正常です。



※その後の設定は次ページ11項以降を参照してください。

お願い

- 「」の表示がしましたら、もうすぐリモコンの電池が切れることを示しています。
- リモコンの電池切れにより、リモコンからの操作ができなくなった場合、電池を交換、もしくは本体側面の手動操作部から操作をしてください。



11 リモコンの初期設定をする

11.1 現在日時の設定

- 前項で、リモコンに電池を入れたときもしくは②④を3秒間同時押しすると、右図のようになります。

注意) 右図の様に7秒間点滅中に何も操作しないと、自動的に設定が終了され、最後に入力したデータが残ります。

- ③のボタンの「」「」で「時」を設定し、④を押すと「分」が設定出来るようになります。

同様に、③の「」「」で設定後、④を押して「曜日」が設定できます。

- 設定を終了させるには、表示が点滅中のまま7秒間放置させるか、①を押すことで設定完了となります。

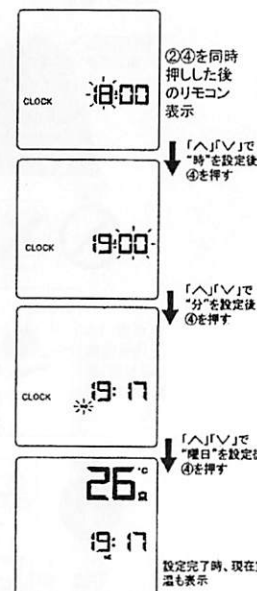
～曜日の表示について～

“曜日”設定は右図3段目のように現在時刻の下に表示されます。各曜日の表示として、

MO: 月曜日
TU: 火曜日
WE: 水曜日
TH: 木曜日
FR: 金曜日
SA: 土曜日
SU: 日曜日

となります。

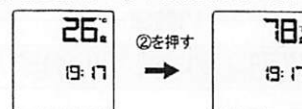
「」を押していくと、MO(月)→TU(火)→WE(水)・・・で、「」を押すと逆にMO(月)→SU(日)→SA(土)・・・となります。



11.2 室温単位の設定(℃かF)

- リモコン内蔵の室温センサーが感知する室温の単位を摂氏(℃)または華氏(F)を選択できます。
- リモコンをオフした状態(リモコンの表示が室温と時計のみのとき)、②を5秒間押し続けると、単位が変わります。

注意) 電池を入れた際の初期設定時は、摂氏(℃)です。



● 使いかた

点 火 (リモコンを使った通常使用のとき)	
⚠ 警告	★ライター・マッチ等で点火しない やけど・けがの原因になります。
	★点火剤・着火剤は使用しない やけど・けが・火災の原因になります。
⚠ 注意	点火不良で、何回も点火操作をした後に点火すると、燃焼バーナー内にたまった燃料が過剰燃焼して炎が大きくなり、すぐに出て異常燃焼します。また燃焼バーナー外に燃料がはみ出して燃焼室ロストル上で燃焼したり、燃焼室ロストルから灰トレイ内へ燃焼殻が落ちたりするので危険です。 このようなときは、あわてずに、「運転スイッチ」を押して「切」にし、(または、本体側面の手動操作部の「手動運転スイッチ」を「OFF」にし、) たまった燃料が燃えつきるまで待ってください。 電源プラグをコンセントから抜かないでください。
	給排気経路、または燃焼バーナーの灰・ほこりなどの目詰まりがないかどうか確認し、掃除・除去をおこなってから再点火操作してください。

①本体側面の手動操作部の「REMOTE」位置にセットする。

②リモコンの「運転スイッチ」を押して「入」にする。

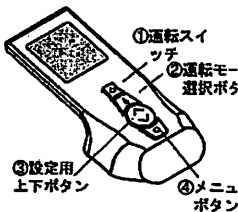
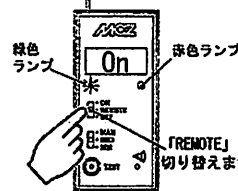
- リモコンの①を1秒押してから離すと、本体側で「ピー」と鳴り、本体側面の手動操作部の3桁表示部が「On」に変わります。そのとき、本体側面の手動操作部の「緑色ランプ」が点滅し、「赤色ランプ」は消灯します。

③リモコンの「運転モード選択ボタン」を押して、「MAN」「AUTO」を選択する。

- リモコンの②を押すたびにMAN→AUTO→MAN→・・・と切り替わります。

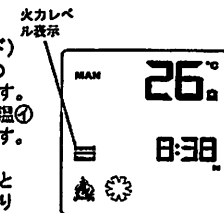
★「MAN」(火力レベルの手動切換運転モード)

- ④を押すと、順に → → → となります。ますので、リモコンの表示を (左下に位置) にします。
- リモコンの③の「/」「\」を押して、火力レベルを1～5(最小～最大)の5段階の間で設定できます。
- 火力レベルを5にしたとき、「5」が表示されます。



- ★「AUTO」(設定室温に応じた自動運転モード)
- 「MAN」で表示した「5」は消え、リモコンの③の「/」「\」を押して、設定温度⑦を設定します。
- リモコンに内蔵している温度センサーが感知した室温⑧に到達し、維持するように火力を自動的に調節します。

※設定した温度に達しますと、次第に最小火力へと切り替わり、一方室温が設定温度以下まで下がりますと、次第に最大火力へと切り替わります。

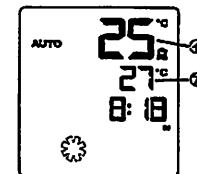


～「MAN」モード時のリモコン表示例～

注意) リモコンの受信可能距離は、本体から半径5m以内です。またリモコンに温度センサーが内蔵していますので、ストーブからの熱の影響をあまり受けない位置(半径8m以内)にリモコンを置いてください。

④燃料供給口から燃料が出てくることを確認する。

- 燃料が燃料供給口から出てきて、燃焼バーナーに溜まり、3～6分程で燃料から白煙が出てきます。
- 白煙は1～2分出たあと、着火します。



～「AUTO」モード時のリモコン表示例～

お願い

- ★初めて運転するときや、燃料タンクを空にして燃料補給した後などは、燃料経路内に燃料が溜たされてないことより、点火できないことがあります。(本体側面手動操作部の3桁表示部にエラーメッセージ「A01」が出ることがあります。)
- ★1～2分白煙が出ているときは、屋外の排気出口からも白煙は出ますが、着火しますと白煙はおさまります。

⑤初期運転が15～17分続く。

- 着火後も一定運転(初期運転)がしばらく続き、本体側面の手動操作部の「緑色ランプ」も点滅したままとなります。
- 正常に燃焼が続きますと、「入」にしてから15～17分後に「緑色ランプ」が点滅から点灯に切り替わります。

お願い

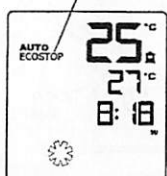
- ★初めてお使いになるときは、ストーブを燃焼させたときに、ストーブ本体に塗装された塗料が加熱によりにおいを発します。1～2日は部屋ににおいが残ることがありますので、部屋を十分に換気してください。
- ★ストーブは燃焼中および温度低下した際に、膨張・収縮により小さなきしみ音が発生することがありますが、異常ではありませんので、ご注意ください。
- ★一気に最大火力に設定せず、徐々に暖めていくことをおすすめします。(一気に火力を高めた燃焼をしますと、各部分が熱により損傷を起こす恐れがあります。)

※「ECOSTOP」による自動運転モードについて

- リモコンの表示で「MAN」「AUTO」のどちらかが表示されている時に、「運転モード選択ボタン」を5秒間押し続けると、「AUTO」とその下に「ECOSTOP」と表示されます。

注意) もう一度5秒間押し続けると、元の表示に戻ります。

～「ECOSTOP（エコストップ）」運転とは・・・～
室温が設定温度に達しますと、最小火力まで落ち、さらに室温が設定温度を超えた状態が一定時間を過ぎた場合、運転を一時的に停止させます。
(一旦停止後、室温が設定温度より低くなり、ストーブが冷めるまで一定時間を経過した時に、運転を再開します。)



「ECOSTOP」モード時の表示

点 火 (リモコンが使用できないとき、手動操作で運転するとき)

リモコンの電池残量がなくなり、リモコンからの指示が一時的にできないとき、またはリモコンが故障したときに、手動で応急的に操作することができます。

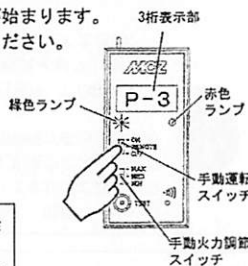
①本体側面の手動操作部を「ON」位置にセットする。

- 「赤色ランプ」が消え、「緑色ランプ」が点滅し、燃料供給が始まります。
- 以降は、前ページの④⑤項と同様に動作することを確認してください。
- 右図のように、手動火力調節スイッチが「MED（中燃焼）」になっていますので、3桁表示部は「P-3」と表示されます。

※「MAX（最大火力）」では、「P-5」、
「MIN（最小火力）」では、「P-1」が表示されます。

お願い

リモコンが再度動作できる環境に戻った場合は、上記①で操作しました「ON」の位置から「REMOTE」にしてください。
(「ON」のままリモコン操作をしても、リモコンからの入力は無視されたままとなります。)

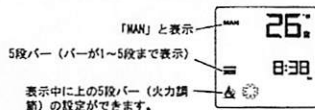


火力調節のしかた (リモコン使用時)

※初期運転終了後（緑色ランプが点滅から点灯に変わる）より設定が反映します。

☆「MAN」（手動運転）のとき

- リモコンの左上の表示が「MAN」となっていることを確認してください。
- 「メニューボタン」を数回押して、「」の表示にします。
- 「設定用上下ボタン」で火力レベル1～5（下図の5段バーの数）が火力を表します）を選択します。
- 火力レベル5のとき、「」と表示します。



☆「AUTO」（自動運転）のとき

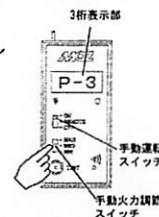
- リモコンの左上の表示が「AUTO」となっていることを確認してください。
- 注意)「AUTO」のときは、「」は表示しません。
- リモコンの「設定用上下ボタン」で設定温度を設定します。

左上に「AUTO」と表示される際、左下に「」は表示されません

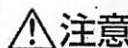


火力調節のしかた (リモコンが使用できないとき)

- 本体側面の手動操作部の「手動運転スイッチ」が「ON」となっていることを確認してください。
- 注意)「REMOTE」ですと、リモコンからの指示しか受け付けません。
- 右図のように、「手動火力調節スイッチ」を「MAX」（最大火力レベル）、「MED」（中火力レベル）、「MIN」（最小火力レベル）のどれかを選択してください。
- セットすると、3桁表示部がそれぞれ、
MAX : 「P-5」
MED : 「P-3」
MIN : 「P-1」
となります。



炎の状態 (最大火力（火力レベル5「MAX」）の状態です)



すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。
運転スイッチを「切」、もしくは手動運転スイッチを「OFF」にしてください。
異常燃焼のおそれがあります。



	正 常	異 常
正 常		
原因	●炎の色は、明るい黄色かオレンジ色。 ●燃焼バーナー内の燃焼残が適度に残っている。	●炎の先端がオレンジ色でゆらゆら燃えている。 ●燃焼バーナー内の燃焼残が溜まり気味である。 ●燃焼用空気不足。 ●燃料供給量過多。 ●燃焼バーナー以外に燃焼した火。 ●燃焼バーナー内の穴の詰まりを掃除する。 ●販売店にご相談ください。

白の破線を目安に、炎が適正に燃焼しているかを確認してください。

～他に考えられる原因と、対処方法など～

☆原因

- 給気口がホコリなどで詰まっている。
- 排気筒をさんだ排気経路が燃焼灰等が堆積して詰まっている。
- 燃料によっても燃焼にバラつきが生じます。
- 使用した燃料と送りこむ燃焼用空気量とのバランスが悪い。
- 燃焼バーナーと燃焼バーナー受けがきちんと収まっていない。

☆対処法の一例

- 給気口のホコリを除去してください。
- 排気経路を掃除してください。
- 使用燃料を替えてみるか、販売店にご相談ください。
(燃料の落ちる割合を調整する等の処置が必要となります。)
- 燃焼バーナーを燃焼バーナー受けに確実に収まるようにセットしておいてください。

～最小燃焼時に、燃焼バーナー内の火種が無くなって、失火した場合～

- 使用燃料を替えてみるか、販売店にご相談ください。
(燃料の落ちる割合を調整する等の処置が必要となります。)

●初期運転終了後に、正常に燃焼しているかどうか、燃焼窓から見て必ず確認してください。

★燃焼中、炎がつかたようになり火の勢が弱かったり、上下変動することがありますが異常ではありません。

★燃焼中、「ガリガリ」と音をたてる場合があります。

送風ファンの温風調節のしかた (リモコンから調節操作できます)



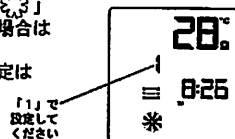
★高温部に注意

燃焼中や消火直後は、燃焼窓や天板などの高温部に手や顔などを近づけないでください。
やけどのおそれがあります。



①リモコンの「メニューボタン」を押して、「」を表示する。

- リモコンの「メニューボタン」を押して、右図のように「1」と「」が表示することを確認してください。
- 注意1) 表示したあと、7秒間放置しますと、「」から「」に変わり、設定が完了となりますので、再度設定する場合はもう一度「メニューボタン」でやり直してください。
- 注意2) 「2」はこの製品には関係ありませんので、送風の設定は必ず「1」の表示でおこなってください。

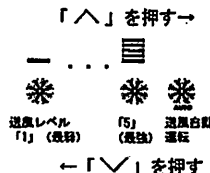


②送風レベルを設定する。

- リモコンの「設定用上下ボタン」で、送風レベルを設定してください。

注意1) 右図の送風レベル「AUTO」のとき、火力に応じて送風の強弱が調整されますが、火力レベルが「4」か「5」(最大火力)のときは送風レベルが自動的に「3」となります。
もし送風をもっと出したい場合は手動で送風レベルを「4」「5」にしてください。

注意2) 送風レベルが「1」か「2」のとき、本体の過熱防止またはファンから出てくる空気の過熱を防止するため、火力が自動的に制限されることがあります。



おやすみタイマーの使いかた

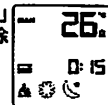
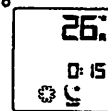
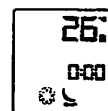
①リモコンの「メニューボタン」を押して、「」の表示にする。

②リモコンの「設定用上下ボタン」で、消火動作が開始するまでの残り時間を設定する。

- 15分単位で設定ができ、最高8時間後までの設定ができます。

注意1) 7秒放置すると、または「設定用上下ボタン」以外のボタンを押すと、設定が完了して右図の様になります。

注意2) 完了した設定を取り消す場合、上項の操作によって「0:00」と時間をセットして完了させれば、おやすみタイマーを解除できます。



15分単位で設定できます

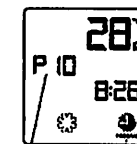
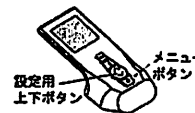
設定完了後、残り時間が表示し、0:00でオフします

週間プログラムタイマーの使いかた (P1~P10の週間プログラム設定方法)

次ページに掲載されていますP01~P10の週間プログラムの中から、お好みに応じた時間帯に合うプログラムを選択することができます。

①リモコンの「メニューボタン」を押して「」を表示する。

- リモコンで「MAN」か「AUTO」が表示している時に、リモコンの「メニューボタン」を数回押して、「」を表示させます。
(リモコンがオフ状態(現在室温と時刻のみ表示)のときは、「メニューボタン」を1回押し、上記同様の表示をさせます。)



注意) 7秒放置すると、自動的に設定完了とみなされ、最後に入力されたもので確定します。

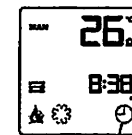
②リモコンの「設定上下ボタン」を押して週間プログラム選択する。

- リモコンの「設定上下ボタン」を押して、P01~P10の10パターンの中から週間プログラムを選択します。
(週間プログラム表は、次ページを参照してください。)

P01~P10まで選択できます
(「P99」に関しては、20ページを参照してください)

※表示は「P01」「P02」・・・「P10」「P99」「OFF」「P01」・・・と「設定上下ボタン」を押すたびに変わります。(P01~P10の週間プログラム表は次ページを参照してください。)

- リモコンの「メニューボタン」を押すか、7秒間放置すると選択したプログラムが確定します。



③設定完了後は「」が常に表示する。

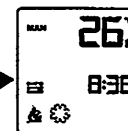
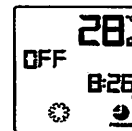
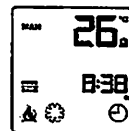
- 週間プログラムが設定されて、起動中の際は、リモコンの表示は常に「」となります。

※後に述べます、各曜日ごとに設定する週間プログラムの起動中も同様です。

プログラムが設定完了後にこのように表示されているときは、設定したプログラムが作動している最中です

週間プログラムタイマーの解除のしかた

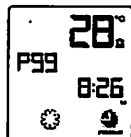
- 再度、「メニューボタン」を数回押して、「」と表示させて、「設定用上下ボタン」で「OFF」を表示させてから「メニューボタン」を押すか、7秒放置すれば解除できます。解除された時、「」の表示がなくなります。



週間プログラムタイマーの使いかた② (各曜日ごとに設定する方法)

前ページまでのP01～P10の週間プログラムでは希望するプログラムがない場合、各曜日ごとにお好みの設定に合わせることができます。

① 18ページの①②項目に従って、週間プログラムの「P99」を選択する。



② リモコンの「運転モード選択ボタン」を押す。

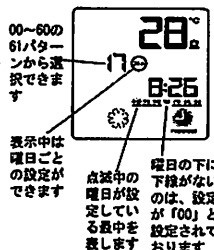
- リモコンの「運転モード選択ボタン」を押すと、右図のように00～60まで選択できるプログラムNo.と「MO」が表示します。
- また「MO (=月曜日)」が点滅しますので、月曜日から順に設定します。



注意) 「メニューボタン」を押すか、30秒放置しますと、設定が完了となり、最後に設定した状態が保存されます。

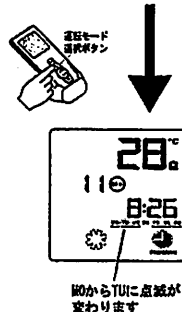
③ リモコンの「設定用上下ボタン」で曜日ごとのプログラムを設定する。

- 点滅している曜日について、リモコンの「設定用上下ボタン」で、希望するプログラムNO.を設定します。
(22ページのプログラム表を参照)



④ リモコンの「運転モード選択ボタン」を押して、次の曜日設定に移る。

- 設定し終わりましたら、「運転モード選択ボタン」を押します。点滅が次の曜日に変りますので、引き続き次の曜日についての設定をおこなってください。
- 「SU (=日曜日)」まで終了しますと、再び「P99」に戻りますので、「メニューボタン」を押すか、7秒放置しますと、設定が完了となります。



注意1) 設定したくない曜日については、その曜日の設定時に「00」と設定してください。

注意2) リモコンの電池交換をしても、設定は記憶されています。

注意3) ストープが起動して10～20分くらい経たないと暖かい空気が吹き出さないことと、ストープの停止も同様に完全消火まで30～40分程度要することを念頭に置いてから、タイマーのプログラム設定をおこなってください。

☆日替わりで設定する週間プログラムの設定例

- ＜例＞月曜日：朝10時までと、17時以降は家に居ます。
火曜日：朝9時までと、12時以降は家に居ます。
水曜日：1日中家に居ますが、使いません。
木曜日：1日中家に居ます。
金曜日：朝9時までと、12～15時、18時以降は家に居ます。
土曜日：18時以降は家に居ます。
日曜日：14時以降は家に居ます。

- (→プログラムNO.20)
(→プログラムNO.42)
(→プログラムNO.00)
(→プログラムNO.13)
(→プログラムNO.33)
(→プログラムNO.10)
(→プログラムNO.08)

※プログラムNO.は、次ページを参照してください。

手順①	手順②
手順③	手順④
手順⑤	手順⑥
手順⑦	手順⑧

※TH (=木曜日) ～SU (=日曜日) の設定は、手順⑦～⑧にならって設定します。

(ユーザーがお好みに応じて、日替わりで設定する為のデイリープログラム表)

	0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	0:00
0:00																									
0:05																									
0:10																									
0:15																									
0:20																									
0:25																									
0:30																									
0:35																									
0:40																									
0:45																									
0:50																									
0:55																									
1:00																									
1:05																									
1:10																									
1:15																									
1:20																									
1:25																									
1:30																									
1:35																									
1:40																									
1:45																									
1:50																									
1:55																									
2:00																									
2:05																									
2:10																									
2:15																									
2:20																									
2:25																									
2:30																									
2:35																									
2:40																									
2:45																									
2:50																									
2:55																									
3:00																									
3:05																									
3:10																									
3:15																									
3:20																									
3:25																									
3:30																									
3:35																									
3:40																									
3:45																									
3:50																									
3:55																									
4:00																									
4:05																									
4:10																									
4:15																									
4:20																									
4:25																									
4:30																									
4:35																									
4:40																									
4:45																									
4:50																									
4:55																									
5:00																									
5:05																									
5:10																									
5:15																									
5:20																									
5:25																									
5:30																									
5:35																									
5:40																									
5:45																									
5:50																									
5:55																									
6:00																									

■ プログラム作動中に、ストーブが動いている時間帯
□ プログラム作動中に、ストーブが停止している時間帯

消火のしかた (リモコンを使った通常使用のとき)

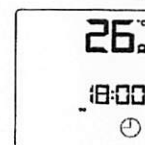
①「運転スイッチ」を押して「切」にする。

- 「運転スイッチ」を1秒以上押して離します。
- 消火操作をすると、右図のように現在室温と現在時刻のみ表示されます。(前述のタイマープログラムを設定、作動中の場合、「②」も表示されます。)
- 燃料供給が止まり、本体側面の手動操作部の3桁表示部は「OFF」と表示されます。



② 消火を確認する。

- 消火操作をしたときは、燃焼バーナー内の火が消えることを確認してください。
- 本体側面の手動操作部の赤色ランプが点滅し続けることを確認してください。



運転スイッチを押した後のリモコン表示

消火後約30分は燃焼用送風機が回転し続けます。その後自動的に停止します。
燃焼用送風機が止まるまで、電源プラグを抜かないでください。
完全停止した場合、主電源スイッチを切らない限りは、本体側面の手動操作部は「OFF」表示と、赤色ランプが点灯したままとなります。

お願い

- ★消火は必ず「運転スイッチ」を使用してください。
電源プラグをコンセントから抜き取って消火することは、絶対にやめてください。
(機器が過熱する原因になります。)
- ★点火した後すぐ消火することはやめてください。燃焼バーナー内に燃料がふくれたり着火しにくくなります。15分間位は燃焼してから消火してください。



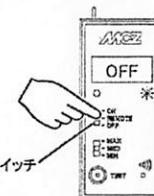
3桁表示部が「OFF」
赤色ランプ
(消火動作中は、点滅。
完全停止後は、点灯。)

手動操作部

消火のしかた (リモコンが使用出来ないとき、手動操作で運転のとき)

①本体側面の手動操作部「手動運転スイッチ」を「OFF」に切り替える

- 本体側面の手動操作部の「手動運転スイッチ」を「ON」か「REMOTE」のポジションから「OFF」に切り替えます。
- 上記②と同じように、消火を確認してください。



手動運転スイッチ

手動操作部

消火後再点火するときの注意

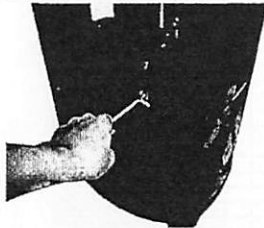
- ★着火前に「運転スイッチ」を押して「切」にし、再度「運転スイッチ」を押して「入」にした場合、(または、「手動運転スイッチ」を「OFF」にして、再度「手動運転スイッチ」を「REMOTE」か「ON」に切り替えた場合、)
燃焼バーナー内に燃料が多く溜まり、燃料が燃焼バーナー外にあふれ出ることがあります。
一度溜まった燃料を外部に出してから再点火してください。

灰処理のしかた

- 必ず消火後、ストーブが完全に冷えた状態でおこなってください。
- 灰は木灰として、菜園などに有効に活用できます。
廃棄物として廃棄する場合、各市町村によって回収方法が異なりますので、各市町村にご確認ください。

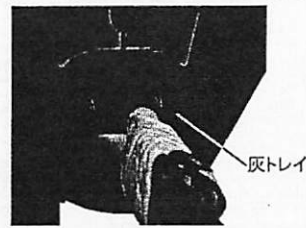
1 燃烧室扉を開ける。

燃烧室扉を図のように開けてください。



2 灰トレイを引き出す。

灰トレイを図のように引き出してください。



お願い

灰トレイは消火後もしばらくの間は高温ですので、灰処理は灰トレイが完全に冷えたことを確認してからおこなってください。

3 灰トレイの灰を金属容器などに 入れてから除去する。

容器に入れた灰は、完全に冷えた状態で処分してください。

4 灰トレイを元に戻す。

2項で引き出した灰トレイを元に戻してください。

5 燃烧室扉を閉める。

チャイルドロックのしかた(リモコン操作のときのみ)

- リモコンの「メニューボタン」を3秒以上長押しすると、右図の様に「」が表示されます。

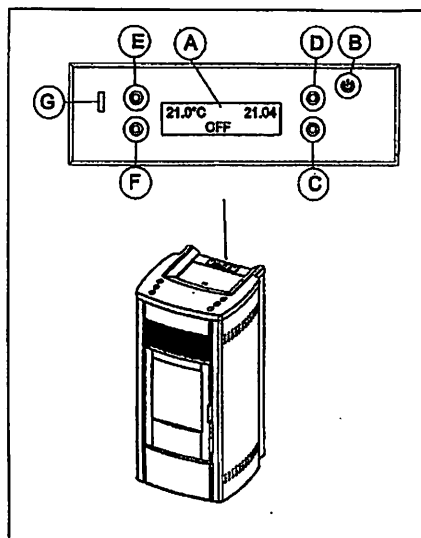
注) ロックを解除するときは、再び「メニューボタン」を3秒以上長押しして、「」の表示を消してください。



チャイルドロックが作動しているときに表示します

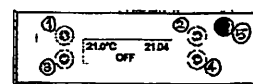


操作表示部

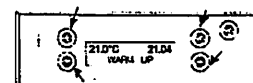


- A: 電光表示部
B: 運転スイッチ
C, D, E, F: 各種設定操作ボタン
G: リモコン受光部

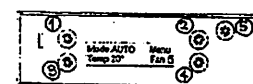
☆点火のしかた（運転開始のしかた）



ボタン⑤（運転スイッチ）を1秒以上長押しして離してください。「ピー」と音が鳴り、「WARM UP」と表示します。初期運転（18～20分間）が始まります。※このときは、一定運転しかできません。



4つのボタンのどれかを押してください。



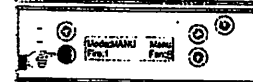
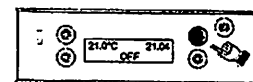
ボタン①を押すたびに「Auto（火力自動運転）」→「Menu（火力手動運転）」→…と変化します。

☆火力調節（温度調節）のしかた

上図表示で、ボタン③を留通に押すと、「Auto」時は、設定温度が1℃ずつ上がります。

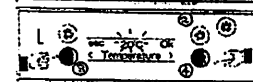
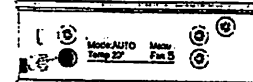
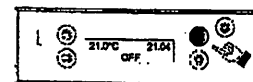
「Menu」時は、火力レベルが1ずつ上がります。

長押しすると、それぞれ次のようになります。



マニュアル（手動運転）モード

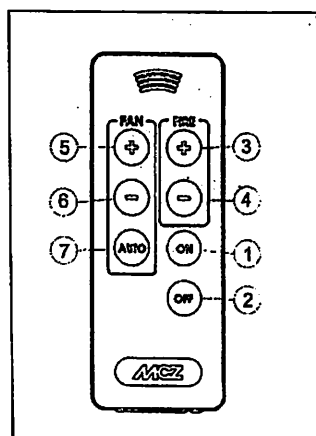
ボタン③④を押して、火力レベルの増減を設定してからボタン②の「Ok」で確定してください。



自動運転モード

ボタン③④を押して、設定温度値を設定してからボタン②の「Ok」で確定してください。

附属品のリモコン ※使用電池は、リチウム電池CR2025 1ヶ



- 1: 運転スイッチ ON ボタン
2: 運転スイッチ OFF ボタン
3: 火力レベル調節ボタン「+」
4: 火力レベル調節ボタン「-」
5: 送風レベル調節ボタン「+」
6: 送風レベル調節ボタン「-」
7: 送風レベル自動運転ボタン

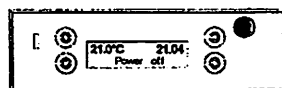
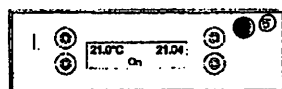
☆送風調節のしかた

前頁のボタン④を押すたびに、送風レベルが「1」→「2」→「3」→「4」→「5」→「A」(Auto:自動)→「1」・・・となりますが、部屋の暖房効率よく行なう為に「5」で常時お使いになることをおすすめします。

※注) 特に送風レベルが「1」もしくは「2」で使用了場合は、状況によっては「A03」や「A04」のエラーメッセージが出て、途中停止することがあります。

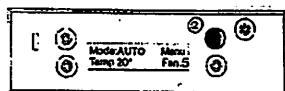
☆消火のしかた

ボタン⑤を運転中に普通に押しますと、バックライトが暗さ、現在の室温、時刻、運転状態が表示されます。1秒以上長押しすると、「POWER OFF」となり、消火モードに入ります。

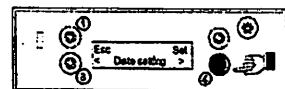


消火モードが終了した時点で全停止し、表示が「Off」と変わります。

☆「Menu」の使いかた



ボタン②を押してください。



ボタン④もしくは⑤を押すと次頁の「メニュー 簡易早見表」の様に各種機能・設定項目に進むことができます。

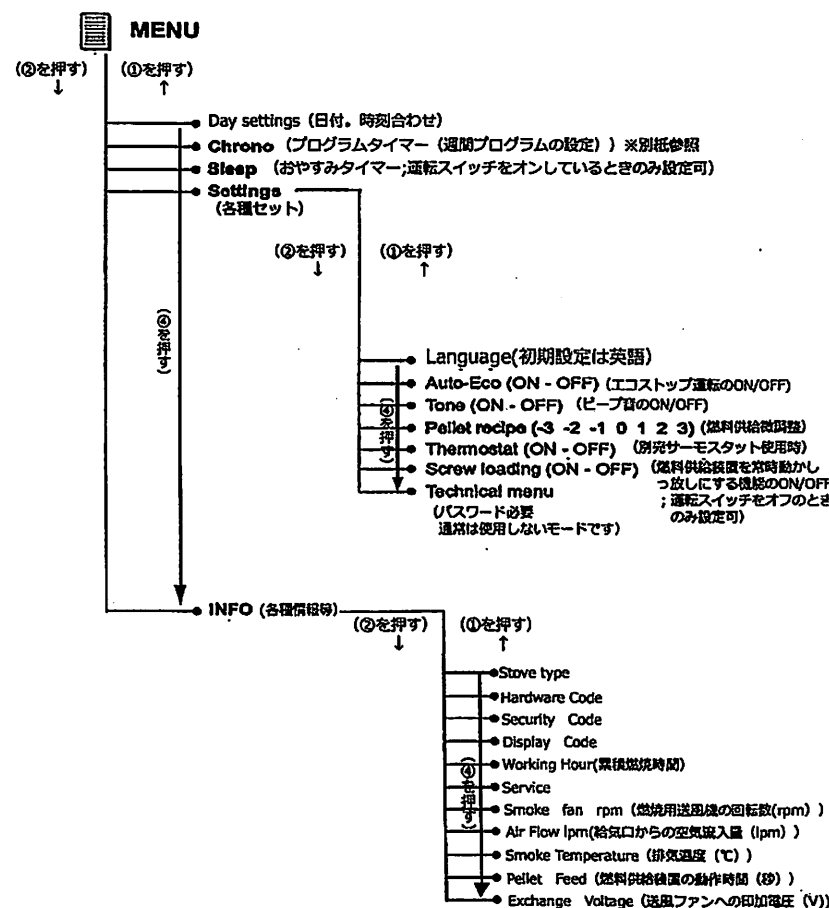
◎ボタン①の「esc」を選択すると1つ前の表示に戻り、7秒間放置しますと、室温、時刻、運転状態の「基本表示」に戻ります。

◎設定途中で点滅表示したまま1分間放置しますと、前述の基本表示に戻ります。

「STAR」 操作部、メニュー 簡易早見表

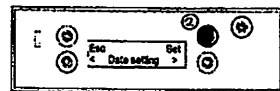


- 1.運転モードの選択(手動運転「MAN」、自動運転「AUTO」)
または、設定中の時のメニューから抜け出す際のボタンです。
- 2.メニューボタン(メインメニュー、サブメニューへのアクセスするためのボタン)
または、設定時の決定する際のボタンです。
- 3.手動運転:火力レベルの設定ボタン(1~5まで)
自動運転:設定温度の設定ボタン(長押しすると上下設定が可能になります。)
- 他、メニューや設定値を変更させる為のボタンです。
- 4.送風ファンの送風レベルの設定ボタン(1~5、A(自動))
他、メニューや設定値を変更させる為のボタンです。
- 5.運転スイッチ(1秒以上長押ししてください。)

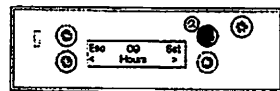


☆「Menu」の使いかた（各項目）

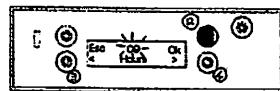
★Date Setting（日付・時刻合わせ）について



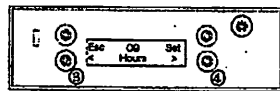
ボタン②で「Set」を選択します。



Hours（〇〇時）を設定します。
まず、ボタン②を押してください。



ボタン③④で点滅している数値を選択し、決まりましたらボタン②「Ok」で決定します。
※③を押すと数値が減り、④を押すと数値が増えます。



「Ok」が「Set」となり、数値の点滅がなくなります。

この表示状態で、ボタン③④を押すと、

Year（西暦〇〇〇〇年）

ボタン③↑

Hours（〇〇時）

ボタン③↑ ↓ボタン④

Minutes（〇〇分）

ボタン③↑ ↓ボタン④

Day（〇曜日）

ボタン③↑ ↓ボタン④

Day of Month（〇〇日）

ボタン③↑ ↓ボタン④

Month（〇〇月）

ボタン③↑ ↓ボタン④

Year（西暦〇〇〇〇年）

↓ボタン④

Hours（〇〇時）

..... Mo：月曜日

Tu：火曜日

We：水曜日

Th：木曜日

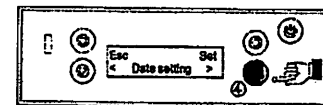
Fr：金曜日

Sa：土曜日

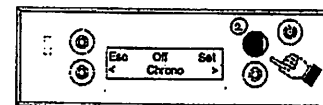
Su：日曜日

◎「Hours（〇〇時）」の設定と同様に Minutes 以降も設定し、全て完了しましたら、「esc」を押すか、7秒放置することで設定が完了します。

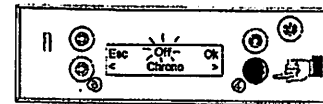
★Chrono（プログラムタイマー（週間プログラム））について



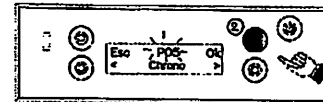
ボタン④を押し、「Chrono」を選択します。



ボタン②を押して、プログラム NO.の設定に入ります。



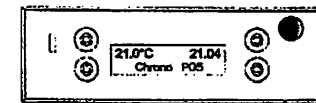
ボタン④もしくは③を押し、点滅しているプログラム NO.を選択します。



プログラム NO.を選択しましたら、ボタン②「Ok」で決定します。＜後述の「通常の週間プログラム表」を参照＞

「Ok」が「Set」となり、点滅表示がなくなります。

「esc」を押すか、7秒放置することで設定可完了します。



設定がされていると、図の様に「Chrono P00」と運転状態（「On」など）と交互表示されます。

◎プログラムの設定を解除するときは、再度最初から設定をやり直し「Off」を選択してから「Ok」へと進んでください。

（通常の週間プログラム表：P01～P10）

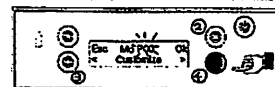
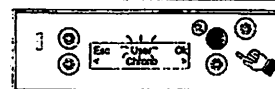
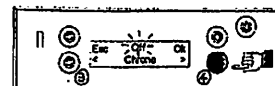
プログラム	月	火	水	木	金	土	日	プログラム	月	火	水	木	金	土	日
P01								P08							
P02								P09							
P03								P10							
P04															
P05															
P06															
P07															
P08															
P09															
P10															

■ プログラム作動中に、ストーブが動いている時間帯
□ プログラム作動中に、ストーブが停止している時間帯

★Chrono（プログラムタイマー（週間プログラム））の User 設定について

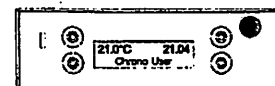
前述のプログラム P01～P10 で好みの時間帯がない場合、次のようにして月～日曜日まで 1 日ずつ設定することができます。

（1 日ごとに 60 パターンのプログラムの中から好みで選択して設定できます。詳しくは後述の「デイリープログラム表」を参照。）



ボタン④もしくは③を押し、点滅しているプログラム NO. を選択する際に、P01～P10 でなく、「User」を選択してから、ボタン②で「Ok」に進んでください。

ボタン④もしくは③で各曜日ごとのプログラム NO. をデイリープログラム表（60 パターン）から選択し、ボタン②で「Ok」を押します。
次に「Tu P00」と表示され、火曜日、水曜日・・・と順に同様に設定していき、日曜日まで設定してください。「Ok」が「Set」となり、点滅表示がなくなります。「esc」を押すか、7 秒放置することで設定完了します。



設定されていますと、図の様に「Chrono User」と運転状態（「On」など）と交互表示されます。

◎プログラムの設定を解除するときは、前述と同様に再度最初から「Chrono」の設定をやり直し「Off」を選択してから「Ok」へと進んでください。

(ユーザーがお好みに応じて、日替わりで設定する為のデイリープログラム表)

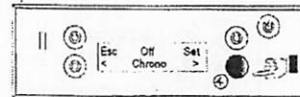
[illegible]

■ プログラム作動中に、ストップが動いている時間帯
□ プログラム作動中に、ストップが停止している時間帯

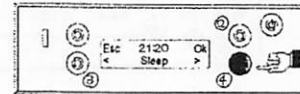
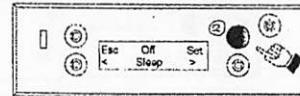
★Sleep（おやすみタイマー）について（運転「On」の時のみ設定可）



ボタン④を2回押し、「Sleep」を選択します。



ボタン②を押し、セットに入ります。

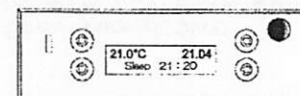


初めに現在時間より 10～20 分後の時間が表示され、ボタン④を押すとさらに+10 分後、ボタン③を押すと-10 分後の時間に变化します。

消火させたい時間が決まりましたら、ボタン②の「Ok」で確定してください。

「Ok」が「Set」となり、点滅表示がなくなります。

「esc」を押かけ、7 秒放置することで設定完了します。

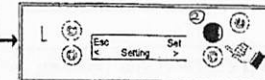
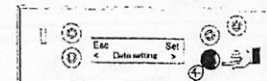


設定されていますと、図の様に「Sleep（設定時間）」と運転状態（「On」など）と交互表示されます。

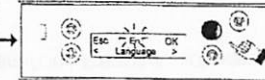
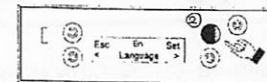
◎プログラムの設定を解除するときは、再度最初から設定をやり直し「Off」を選択してから「Ok」へと進んでください。

★Settings (各種セッティング) について

1) Language (表示言語) について



「Setting」からボタン②で
「Set」に入ります。

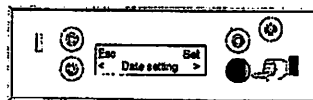


「Language」が表示されたらボタン②を押して、「En (English)」が点滅します。 ボタン③④で好みの言語が選択できます。 ※取扱説明書上の基本言語は英語表示にて説明をしています。
※日本語は表示できません。

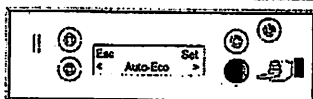
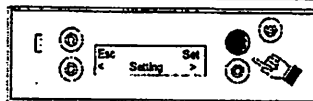
2) Auto-Eco 運転について

室温が設定温度に達しますと、最小火力（火力レベル 1）まで落ち、さらに室温が設定温度を超えた状態が一定時間を過ぎた場合、運転を一時的に停止させます。

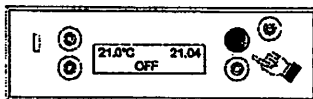
（一旦停止後、室温が設定温度より低くなり、ストーブが冷めるまで一定時間を経過した時に、運転を再開します。）



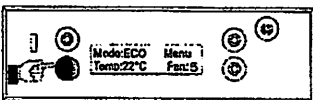
「Setting」から「Set」に入ります。



ボタン③④を押して、「On」を選択します。
「Ok」が「Set」となり、点滅表示がなくなります。
「esc」を押すか、7秒放置することで設定完了します。



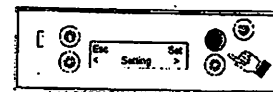
設定されていますと、図の様に Mode のところが「Eco」と表示されます。



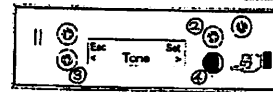
◎プログラムの設定を解除するときは、再度最初から設定をやり直し「Off」を選択してから「Ok」へと進んでください。

3) Tone（ピー音）について

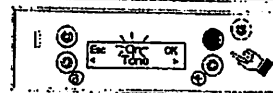
各ボタンを押したときに「ピー音」は出荷時は「Off」設定ですが、以下の様にして音を出すことができます。



「Setting」から「Set」に入ります。



ボタン③④を押して、「Tone」を選択して、ボタン②で「Set」に入ります。

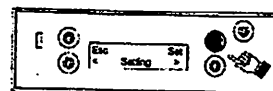


ボタン③④を押して、「On」を選択します。
「Ok」が「Set」となり、点滅表示がなくなります。
ボタン類を押すと、「ピー」が鳴るようになります。

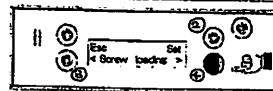
4) Screw loading について

製品の使い始めや、シーズン初めの際、燃料供給経路に燃料が残っていない場合、燃料が燃料タンクから燃焼室までに送るのが時間がかかるので、点火までに時間が掛かります。

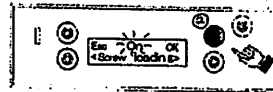
意図的に予め燃料を送り出して、すぐに燃焼バーナー内に燃料を供給できるようにする必要がある時に使います。
※このモードは、運転「Off」時のみの表示・操作となります。（運転中は表示しません）



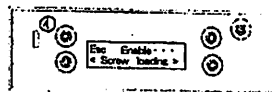
「Setting」から「Set」に入ります。



ボタン③④を押して、「Screw loading」を選択して、ボタン②で「Set」に入ります。



ボタン③④を押して、「On」を選択し、ボタン②を押すと、「Enable・・・」と表示され、燃料供給装置が動きつ放しとなります。

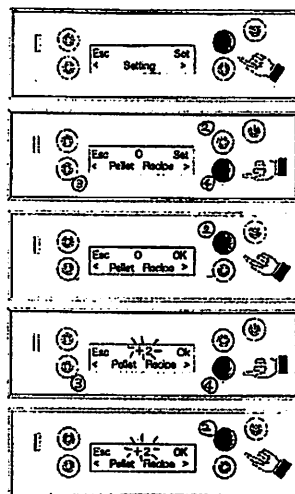


注）燃料が燃焼バーナー内に供給されてきましたら、即ボタン①の「esc」を押して止めてください。

5) Pellet Recipe (燃料供給量 微調整) について

様々な質の木質ペレットに対し、必ずしも適合する燃焼にならない場合もあります。

また、過度に燃え過ぎたり、燃えなさすぎたりする燃料もありますので、燃焼室内への燃料供給量 を微調整 することができます。



「Setting」から「Set」に入ります。

ボタン③④を押して、「Pellet Recipe」を選択して、ボタン②で「Set」に入ります。

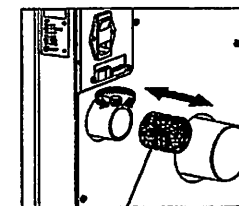
ボタン③④を押して、「-3~+3」を選択し、ボタン②を押すと、微調整の設定が完了します。

+1~+3: どの火力レベルに対しても基準の燃料供給量より多めに供給します。
(炎があまり上がってこない時、最小燃焼時に途中で立ち消えしてしまう場合などに選択します。)

-1~-3: どの火力レベルに対しても基準の燃料供給量より少なめに供給します。
(炎が上がり過ぎている時、または本体が過熱している時などに選択します。)

空気取入口(給気口)のクリーニング

- 弊社「基本給気筒セット(N)」など、壁を貫通させて外部からの空気を取り込む場合、屋外の空気吸入口付近に設けてあるエアフィルターに詰まっているホコリやごみ等を除去してください。
- 屋内給気の場合は、右図のように必ず金属メッシュ状のエアフィルターを外して、付着しているホコリやごみを除去してください。掃除後は必ずエアフィルターを再装着してください。



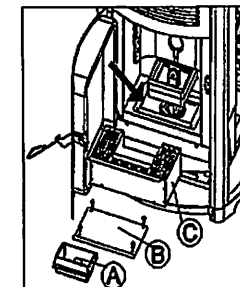
エアフィルター(金属メッシュ製)

注意) エアフィルターを装着しないと、モーターや内部センサーに汚れが付き、異常をきたすことがあります。

フィルターは柔らかく手で変形し易いので、誤って破損しないよう注意してください。

燃焼用送風機内のクリーニング

- 燃焼室扉を開き、図のようにまずA(燃焼バーナー)を取り外し、次にC(灰トレイ)を取り外し、工具にてBのプレートについている4ヶのネジを取ってプレートを取り外すと、矢印の燃焼用送風機の内部が見えてきます。
- 送風機内のファンに溜まった灰やススなどを全て掃除機で除去してください。
- Bを元に戻してから、A、Cも元に戻してください。



操作手順

ペレットストーブ点火手順

- 1) 本体背面の主電源を「I」にして、「OFF」表示になってから本体手動操作部のスイッチを「REMOTE」にしてください。

※通常使用時は、常に「REMOTE」位置にしてください。

リモコンが故障、もしくは電池切れ等使えない場合は、本体手動操作部を「ON」にしてください。そして、その下のスイッチ「MAX（最大燃焼）」「MED（中燃焼）」「MIN（最小燃焼）」で火力を選択してください。（この時の表示はそれぞれ「P-5」「P-3」「P-1」となります。）

※「A01」「A02」等エラーで停止した場合は、一旦本体手動操作部のスイッチを「OFF」にして表示が「OFF」になってから、再度「REMOTE」に戻してください。

- 2) リモコンの電源スイッチを 1 秒以上長押ししてください。

※本体側で「ピー」と音が鳴ります。本体手動操作部の表示が「ON」になり、動き出します。

※ペレット燃料が燃焼バーナー内に落ちてきます。

※着火するまで、約 5～10 分要します。着火する寸前は白煙が出ますが、着火することで白煙はなくなります。

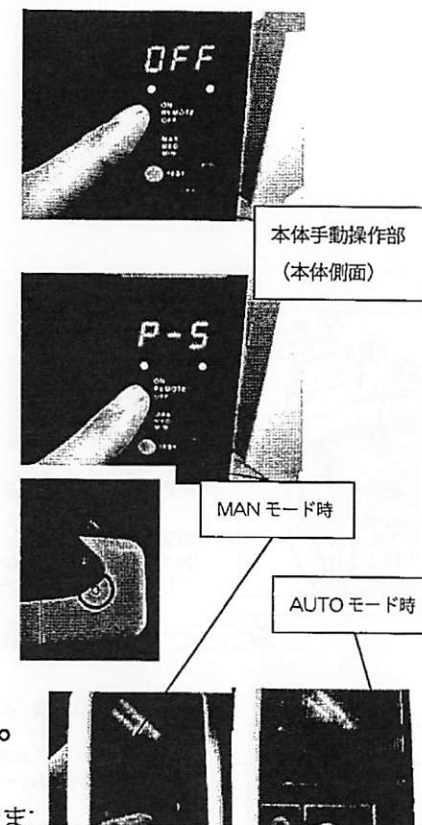
- 3) リモコンの「▲」「▼」ボタンで火力調節（温度調節）してください。

※リモコンの「mode」ボタンで「MAN」を選択の場合は、「▲」「▼」で火力 5 段階調節（火力レベル 1～5）ができ、「AUTO」を選択の場合は、設定温度を「▲」「▼」で決めることができます。

- 4) リモコンの「○」ボタンで「」を選択し、「▲」「▼」で温風調節してください。

※表示が「1」の時は前面温風の送風レベル（1～5、AUTO）、もう一度「○」を押して表示を「2」とした時は、後ろ側面温風の送風レベル（1～5、AUTO）の調節をすることができます。

※「A03」のエラーが出るようでしたら、送風レベルを前面温風、後ろ側面温風共に「5」でお使いください。



ペレットストーブ消火手順

1) リモコンの電源スイッチを 1 秒以上長押ししてください。

※本体側で「ピー」と音が鳴ります。本体手動操作部の表示が「OFF」になり、燃料供給は止まります。

※各送風用モータは一定温度に下がるまでは動き続けて、燃焼バーナー内の燃料を燃やし切り、冷却する様になります。燃焼バーナー内の燃料が燃やし切る目安は消火開始後 5～10 分です。

※完全に停止するまで、消火開始後約 10～30 分要します。

注意) 燃料切れをなるべく起こさないよう、燃料補充をしてください。「AO2」のエラーで本体停止後に若干白煙が出るこ

とがあります。

また、あまり燃焼時間が経過していない状況等で消火した際に、燃焼バーナー内に燃え残り等が完全に燃え切らないまま完全停止した際少々白煙が出ることがあります。

★その際は速やかに一旦本体側面の本体手動操作部のスイッチを「OFF」にスライドさせて、表示が「OFF」となりエラーを解除させてから、「REMOTE」に戻すか、本体手動操作部のスイッチを「ON」にしてください。

★その他、おやすみタイマーや週間プログラムタイマーの操作方法等は、付属の取扱説明書をご覧ください。

SECTION 4: トラブルシューティング

エラーコード

全機種共通

エラーメッセージ	内容
A01	点火できない
A02	燃焼中に失火して運転停止する
A03	燃料タンク周囲など本体内が高温となっている
A04	排気温度が異常に高温となる (設定火力以上に炎が大きく燃え上がっている など)
A05	運転中に燃焼室扉を開けたとき。または排気経路や空気取入口が詰まったとき。
A06	燃焼用空気の不足 (燃焼バーナーへの燃焼用空気供給不足)
A08	燃焼用送風機のファンが回らない (破損、もしくはロックされている)
A09	燃焼用送風機の排気温度センサーの故障
A10	点火ヒータの故障
A11	燃料供給用モータの故障
A12	リモコンの故障(または本体受信部の故障)
A13	コントローラ基板の故障
A14	空気流量センサーの故障
SEr	メンテナンス時期のお知らせ

トラブルシューティング

・「CLUB」
・「STAR」 共通 P25～27
・「TOBA」

MCZ社ペレットストーブ トラブルシューティング (CLUB・TOBA・STAR)

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	主なチェック方法			
			確認内容			
A01	点火できない(着火不良) ※排気温度センサーが50℃に達しない場合	排気温度センサー	「A01」消火	燃料タンク内のペレット燃料が空になっている。	YES ⇒	燃料を補充してください。また、タンク内の燃料が平らになるように手で均一にならしめます。
				燃焼バーナーがバーナー受けに正しく収まっていない。	YES ⇒	正しくセットしてください。
				バーナー内にペレット燃料が投下されていない。	YES ⇒	オーガスクリーパーが回転していない。 YES ⇒ スクリューに燃料や異物を挟み込んでロックしていませんか。 YES ⇒ 異物を除去してください。 NO ⇒ オーガモーターとコントローラ出力を確認してください。
				↓ NO		
				燃料タンク底(オーガスクリーパー入口)に多量のペレットくず(おがくず)が堆積している。	YES ⇒	タンク底のペレットくず(おがくず)を除去してください。
				↓ NO		
			着火後「A01」警報発生	燃料タンク出口(オーガスクリーパー入口)でペレット燃料が詰まっている。	YES ⇒	詰りを除去してください。また、ペレット燃料が適切なサイズが確認してください。
				湿った燃料が使用されている。	YES ⇒	適切な燃料に交換してください。
				バーナー内に多量のクリンカーが形成されている。	YES ⇒	バーナー内のクリンカーを除去してください。
				点火動作時に点火ヒータが赤熱していない。	YES ⇒	点火ヒータとメイン基板出力を確認してください。※抵抗値目安150Ω前後(230V仕様)、40Ω前後(115V仕様)。
				寒冷地(低温条件)で使用している。	YES ⇒	極端な低温条件の場合、点火しづらいことがあります。点火操作をもう一度おこなってください。
				燃料タンク内のペレット燃料が空になっている。	YES ⇒	燃料を補充してください。また、タンク内の燃料が平らになるように手で均一にならしめます。

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	主なチェック方法			
			確認内容			
A02	燃焼中に失火して運転停止する。 (途中消火) ※燃焼中に排気温度センサーが50℃を下回った場合	排気温度センサー	「A02」燃焼中に失火	燃料タンク内のペレット燃料が空になっている。	YES ⇒	燃料を補充してください。また、タンク内の燃料が平らになるように手で均一にならしめます。
				バーナー内にペレット燃料が投下されていない。 ※再点火動作してもペレット燃料が落下してこない。	YES ⇒	オーガスクリーパーが回転していない。 YES ⇒ スクリューに燃料や異物を挟み込んでロックしていませんか。 YES ⇒ 異物を除去してください。 NO ⇒ オーガモーターとコントローラ出力を確認してください。
				↓ NO		
			燃焼中に失火	燃料タンク底(オーガスクリーパー入口)に多量のペレットくず(おがくず)が堆積している。	YES ⇒	タンク底のペレットくず(おがくず)を除去してください。
				↓ NO		
				燃料タンク出口(オーガスクリーパー入口)でペレット燃料が詰まっている。	YES ⇒	詰りを除去してください。また、ペレット燃料が適切なサイズが確認してください。

MCZ社ペレットストーブ トラブルシューティング (CLUB・TOBA・STAR)

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	主なチェック方法			
			確認内容			
A03	燃料タンク周囲など本体内部が高温となっている。 ※ハイリミットスイッチ110℃が作動した場合	ハイリミットスイッチ110℃(タンク用)	運転停止直後に発生する	YES ⇒	しばらく放置して本体が冷めた後に再スタートしてください。	
			対流ファンの風量が弱い	YES ⇒	対流ファンに埃が付着している場合は掃除する。 対流用ファンおよびコントローラ出力を確認する。 上記確認において異常がみられなければ風量レベルを「4」か「5」に上げる。	

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	主なチェック方法			
			確認内容			
A04	排気温度が異常に高温となる。 ※排気温度センサーが250～280℃の高温を検出した場合	排気温度センサー	排気温度が異常に高温になる場合	排気経路や排気口に灰や煤が多量に堆積、もしくは詰りがある。	YES ⇒	灰や煤を除去してください。
				使用している部屋の空気取入口面積が充分でない。※高気密断熱住宅で結露を防いでいない場合含む。	YES ⇒	燃焼に必要な空気を取り込めるように結露してください。
				発熱量が高過ぎる燃料使用	YES ⇒	適正な燃料を使用してください。
				燃料供給過多	YES ⇒	供給量設定が過剰供給になっている場合は適正な設定に戻してください。
			排気温度が低い場合でも発生する。	YES ⇒	排気温度センサー又はコントローラの故障。	※上記処置でも改善されない場合は燃料供給量の微調整で、供給量を減らしてみてください。(CLUB・TOBA本体側の手動操作表示部での調整、もしくはSTAR上面操作表示部内のPELLET RECIPEでの調整をする)

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	主なチェック方法			
			確認内容			
A05・A07	運転中に燃焼室扉を開けたとき。または排気経路や空気取入口が詰まったとき。	空気流量センサー	運転中に燃焼室扉を開けた。	YES ⇒	運転中は確実に扉を閉めてください。	
			バーナーに灰やクリンカーが多量に堆積している。	YES ⇒	灰などを除去してください。	
			空気量センサーにゴミや異物が堆積している。	YES ⇒	ゴミや異物を除去してください。	
			燃焼用空気取入口に詰まりがある。	YES ⇒	詰りを直してください。	
			排気経路や排気口に詰りがある。	YES ⇒	排気経路を掃除してください。	
			強風などにより一時的に逆圧が加わった。	YES ⇒	風がおさまってから、再スタートしてください。	
			空気量センサーが正常に作動しているか確認してください。	YES ⇒	正常でない場合は空気量センサー交換	
			※上記確認後も燃焼バーナーに短時間で灰が堆積する様なら、燃料供給量の微調整で、供給量を減らしてみる。(CLUB・TOBA本体側の手動操作表示部での調整、STAR上面操作表示部内のPELLET RECIPEでの調整をする)			

MCZ社ペレットストーブ トラブルシューティング (CLUB・TOBA・STAR)

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	確認内容	主なチェック方法
A06	燃焼用空気の不足	空気流量センサー	バーナーに灰やクリンカーが多量に堆積している。	YES ⇒ 灰を除去してください。 ※ペレット燃料が適正なものであることを確認してください。
			使用している部屋の空気取入口面積が充分でない。※換気扇を常時住宅で給気扇を使っていない場合含む。	YES ⇒ 燃焼に必要な空気が取り込めるように設置してください。
			空気流量センサーにゴミや異物が付着している。	YES ⇒ 汚れを除去する。 NO ⇒ 空気流量センサーを交換
			※上記確認後も燃焼バーナーに短期間で灰が堆積する様なら、燃料供給量の微調整で、供給量を減らしてみる。 (CLUB・TOBA本体前面の手動操作表示部での調整、STARは上面操作表示部内のPELLET RECIPEでの調整をする)	

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	確認内容	主なチェック方法
A08	燃焼用ファンが回らない (破損、もしくはロックされている)	モータエンコーダ (回転検出器)	配線の接続不良、または断線がある。	YES ⇒ 配線を修正してください。
			燃焼用送風機の中央に装着されている回転検出センサーを一旦取り外して、送風機の軸のゴミを付着がある。	YES ⇒ 清掃除去してください。
			(回転しない)燃焼用送風機の中に異物や灰のかたまりなどがあり、送風機の羽根がロックされている。	YES ⇒ 清掃除去してください。
			コントローラの燃焼用送風機出力あり。	YES ⇒ 燃焼用送風機を交換してください。 NO ⇒ コントローラを交換してください。

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	確認内容	主なチェック方法
A09	排気温度センサーの故障	排気温度センサー	配線の接続不良、または断線がある。	YES ⇒ 配線を修正してください。
			上記以外	YES ⇒ 排気温度センサー 又は コントローラの故障。

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	確認内容	主なチェック方法
A10	点火ヒータの故障	点火ヒータ	配線の接続不良、または断線がある。	YES ⇒ 配線を修正してください。
			点火動作時にコントローラの点火ヒータ出力あり。	YES ⇒ 点火ヒータの故障です。
			上記以外	NO ⇒ コントローラの故障です。

MCZ社ペレットストーブ トラブルシューティング (CLUB・TOBA・STAR)

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	確認内容	主なチェック方法
A11	燃料供給用モータの故障 (オーガモータ)	オーガモータ	配線の接続不良、または断線がある。	YES ⇒ 配線を修正してください。
			燃料供給用スクリーンに燃料や異物を挟み込んでロックしている。	YES ⇒ 異物を除去してください。
			点火動作時にコントローラのオーガモータ出力あり。	YES ⇒ オーガモータの故障です。
			上記以外	NO ⇒ コントローラの故障です。

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	確認内容	主なチェック方法
A12	リモコン受信圏外、 またはリモコンの故障 (または本体受信部の故障) ※3時間以上信号をリモコン 情報を受信できなかった場合。	リモコン・受信部	リモコンの電池残量が少なくなっている。	YES ⇒ 新品のアルカリ電池(単4 3本)に交換する。
			リモコンが受信圏外の場所にある。	YES ⇒ 本体近くへ移動してください。
			上記以外	YES ⇒ 本体受信部の故障または、リモコンの故障

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	確認内容	主なチェック方法
A13	コントローラ基板の故障	コントローラ・配線	配線の接続不良、または断線がある。	YES ⇒ 配線を修正してください。
			上記以外	YES ⇒ コントローラの故障です。交換してください。

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	確認内容	主なチェック方法
A14	センサーの故障	空気流量センサー他	配線の接続不良、または断線がある。	YES ⇒ 配線を修正してください。
			上記以外	YES ⇒ 空気流量センサーの故障または、コントローラの故障

※該当項目を上から順に確認してください。

エラー表示	故障内容	関連部品	確認内容	主なチェック方法
Ser	メンテナンス時期のお知らせ (2000時間経過)		メンテナンスを実施しましたか。	YES ⇒ メンテナンスをした後、所定方法で「Ser」 表示を解除する。

MCZ社ペレットストーブ トラブルシューティング (CLUB・TOBA・STAR)

エラーの出来ない事象

※該当項目を上から順に確認してください。

故障内容	関連部品	確認内容		主なチェック方法
		確認内容		
運転しない(表示出ず)	コントローラ	そのままだリモコン操作すると運転しますか。	YES ⇒	「REMOTE」操作モードになっている
		「REMOTE」位置にしてリモコンで操作すると運転しますか。	YES ⇒	本体操作板の故障
	電源コード	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	NO ⇒	コンセントに差し込んでください。
	操作板	コンセントにAC100Vが出力されていますか。	NO ⇒	ブレーカが作動していませんか。その他は電力会社に確認してください。
	リモコン	電源コードが機器に確実に差し込まれていますか。	NO ⇒	差し込んでください。
		機器背面の主電源スイッチがONになっていますか。	NO ⇒	スイッチをONにして下さい。
	昇圧トランス	昇圧トランスの2次側に約AC220V又はAC115Vが出ていますか。	NO ⇒	昇圧トランスと配線を確認してください。
	電流ヒューズ	コントローラのヒューズが断線していませんか。	NO ⇒	ヒューズの交換とともに、ヒューズが切れた原因を処置してください。
		機器内の配線に外れや断線がありますか。	YES ⇒	配線を修正。
			NO ⇒	コントローラ故障
	リモコンで運転しない場合	本体操作部を「ON」位置にして手動運転モードで操作すると運転する。	YES ⇒	機器の近くでリモコン操作すると運転する場合は距離を近づけて操作してください。
			NO ⇒	リモコン電池のパワー低下の場合は電池を交換。(アルカリ電池を使用) 上記以外にはリモコンまたは受信部の故障を確認してください。
炎が立炎する 炎が小さい 異常燃焼する	バーナー	燃焼バーナーがバーナー受けに正しく収まっていますか。	YES ⇒	正しくセットしてください。
	排気ファン	扉が開いている。	YES ⇒	扉を閉めてください。
	燃料	湿った燃料が使用されている。	YES ⇒	適切な燃料に交換してください。
	排気経路	バーナー内に多量のクリンカーが形成されている。	YES ⇒	バーナー内のクリンカーを除去してください。
	給気経路	バーナーの穴が灰や煤で塞がれている。	YES ⇒	灰や煤を除去してください。
		給気側に埃の堆積や詰りがある。	YES ⇒	掃除してください。
		排気経路や排気口に灰や煤が多量に堆積、もしくは詰りがある。	YES ⇒	灰や煤を除去してください。
		発熱量が高過ぎる燃料使用	YES ⇒	適正な燃料を使用してください。
		燃料供給過多	YES ⇒	供給量設定が過剰供給になっている場合は適正な設定に戻してください。

注意) エラーを解除させる際は、CLUB・TOBAは本体側面の手動操作表示部のスライドスイッチで、「ON」、「REMOTE」から「OFF」にして10秒待ち、「OFF」にしてください。
STARは天板部の操作表示部の電源スイッチを1秒以上長押しして、「Checking・・・」から「POWER OFF」もしくは「OFF」となることを確認してください。

もしくは、故障箇所を直してから上記操作をしてください。

※「A03」のときは温度が冷めた頃合いをみてから、上記操作をしてください。

SECTION5：分解方法 その他

5-1) MCZ 分解方法

代表機種：CLUB

- ・天板の取り外し



燃料投入口のフタを開け、天板を持ち上げて取り外します。

- ・側面パネルの取り外し



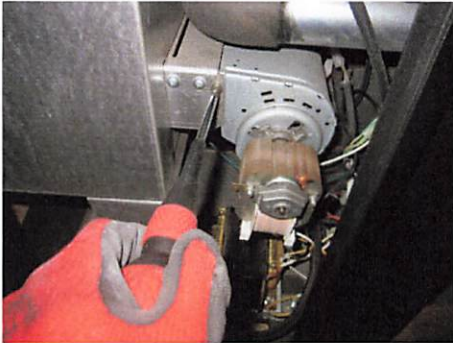
ネジ2本を外し、メッシュガード板を取り外します。
側面パネルを左右各3枚、取り外します。

- ・製品内部



本体左側

- ・対流用ファンモーター

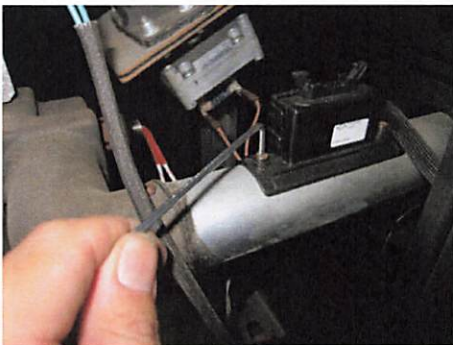


本体右側



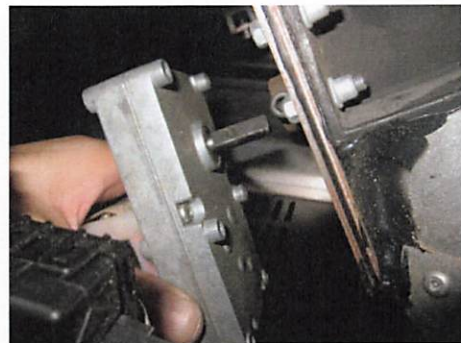
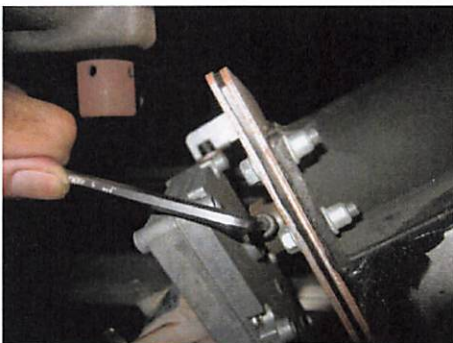
コネクタ3ヶ所、ネジ左右各2本（計4本）を外し、対流用ファンモーターを取り外します。

- ・給気量センサー



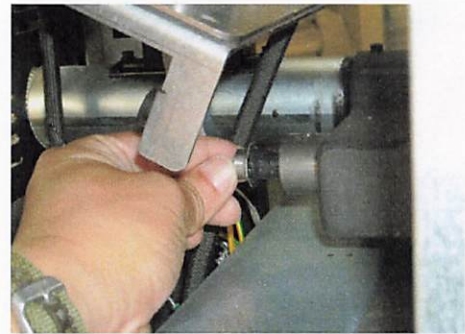
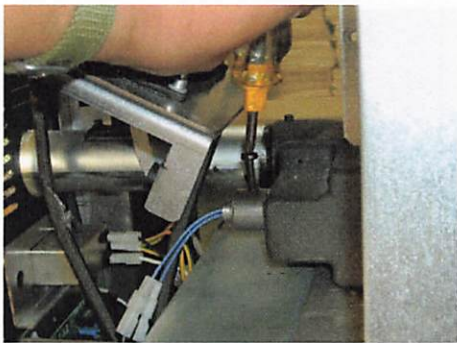
上部のコネクタのロックを開いて外します。ネジ2本を六角レンチ(対辺 3mm)にて外し、センサー部を上方へ引き出します。取付け時には方向に注意。

- ・オーガモーター



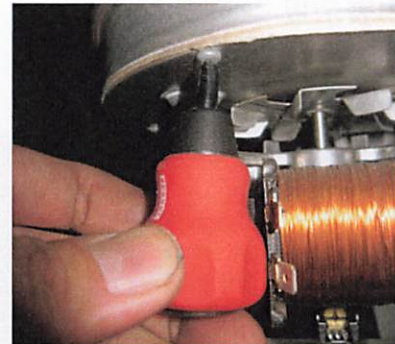
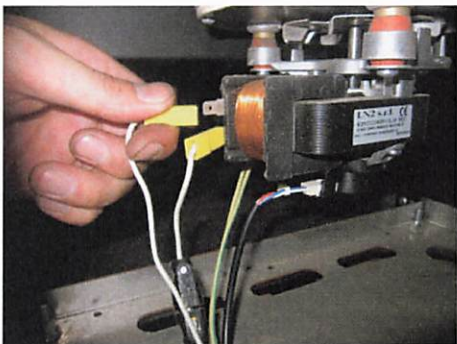
コネクタ2ヶ所を外し、オーガー軸部のネジを六角レンチ(対辺 5mm)にて緩めてモーターを取り外します。

・イグナイタ（点火ヒーター）



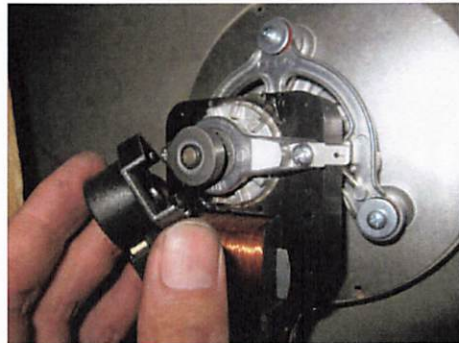
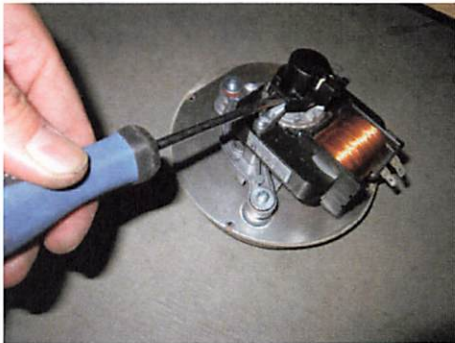
コネクタ 2ヶ所を外し、上部のネジを緩め、ヒーターを後方へと引き出します。

・燃焼用ファンモーター（排気ファン）



コネクタ 4ヶ所を外し、ネジ 4 本を外してファンモーターを取り外します。

・ ホール IC



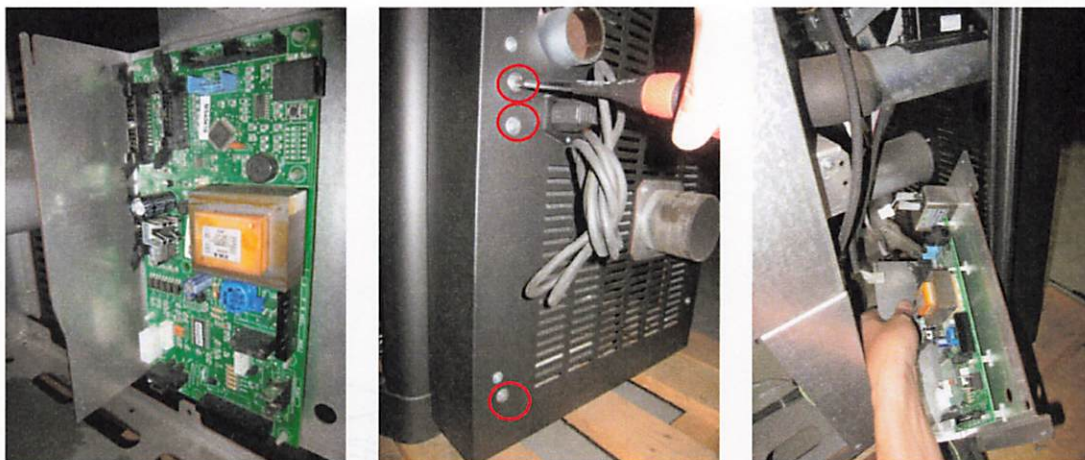
燃焼用ファンモーターとホール IC の隙間にマイナスドライバーを入れ、ホール IC を取り外します。

・ 操作表示板



操作表示板上部のスリットにマイナスドライバーを差し込み、手前に引き出します。

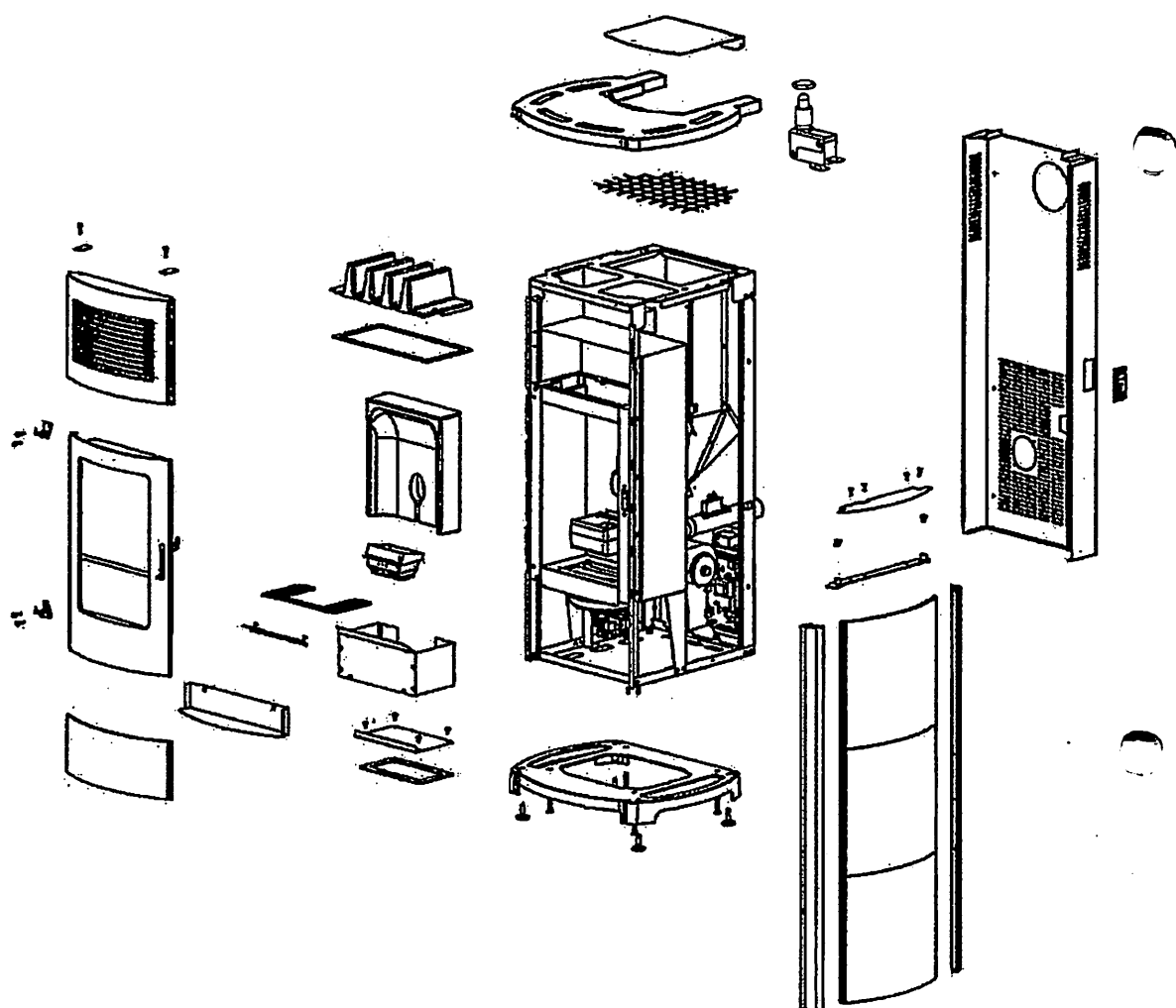
・コントローラー



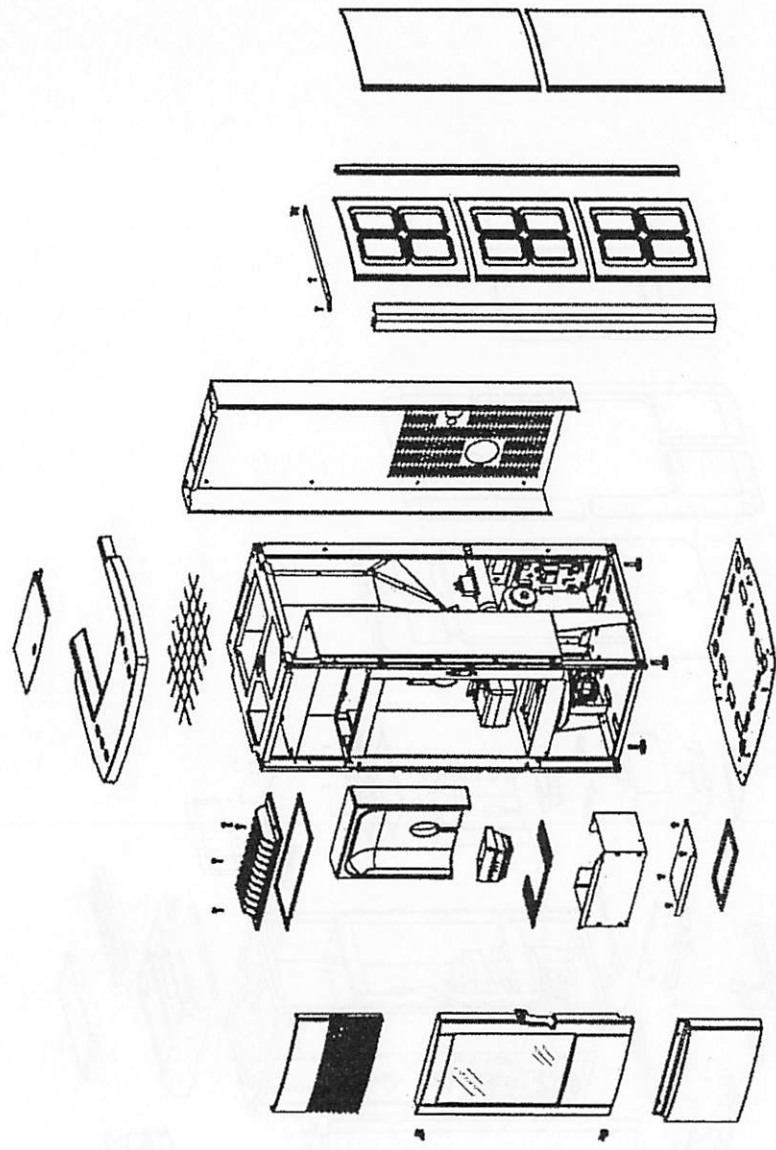
コントローラーに接続されている配線を全て外します。
本体背面からネジ3本(上写真の赤丸内のネジ)を外します。
コントローラーベースごとコントローラーを取り出します。

5-2) 分解図

CLUB



STAR



5-3) MCZ 製 本体排気経路の清掃について



- 1) 前面の鋳物ルーバー部を取り出します。
(写真は CLUB で、上に持ち上げることで取り出せます)



- 2) 遮熱板のネジ 6 か所を+ドライバーなどで外します。



- 3) 遮熱板を取り外し、熱交換部のボルトねじ 4 か所を対角 8mm のソケットレンチ等で取り外します。



- 4) 取り外した熱交換部の内部(左図)の清掃、および本体燃焼部の上部の左右に設けられている排気経路に長いブラシ等を入れて掃除してください。(右図。矢印が排気経路)



5) 灰トレイを取り出してください。



6) 3) 同様対角 8mm のソケットレンチでボルトねじ 4 か所取り外してください。



7) 燃焼バーナーと燃焼室の白い側壁石も取り外してください。



8) 図の様に板を取り外してください。



9) 柄の長いホウキ等で、排気経路の合流地点でもあります排気ブロアモータ収納部の左右に溜まっている灰等を掻き出してください。



10) 本体裏の給気口にホコリ等で閉塞されていないか確認して下さい。
(給気口は、写真手前側のΦ50の筒です。)

他： 本体裏の排気口（ 前頁 10）の写真の奥側に写っているΦ80の筒）がメンテナンスで配管を取り外した際に灰が堆積していると思われるので、掃除機等でキレイに除去して下さい。

運転時、空気量センサーの値が点火時燃焼時(立ち上がり 18 分)では 140～200lpm、排気ブロアの回転数が 1200～2000rpm 保っていることを確認して下さい。

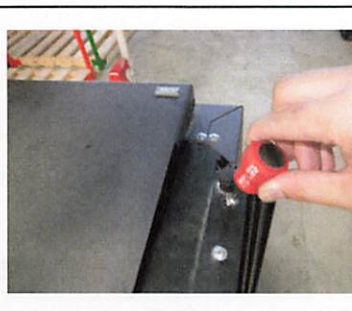
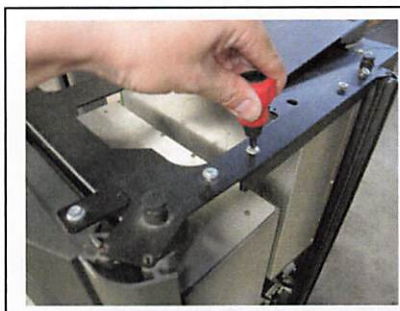
※CLUB では、本体横のスライド SW を「REMOTE」にして、その下のスライド SW を真ん中の「MED」にした状態で、左下の「TEST」ボタンを押しますと、3 ケタ表示が 2 度変化を起こして表示します。

（1 度目の表示が排気ブロアモータの回転数の 1/10 の数が表示、数秒後に変化して 2 度目に表示する値が、空気流量センサー値です。）

注意) 空気流量センサー値が急激に 90lpm 以下となる場合は「A05」のエラーを引き起こします。

また 140～200lpm 程度の値が示しても、実際はかなり空気不足気味の燃焼で暗い炎でしたら、空気流量センサー自体の感度不良を起こしている可能性もありますので、その際はセンサー交換をお勧めします。

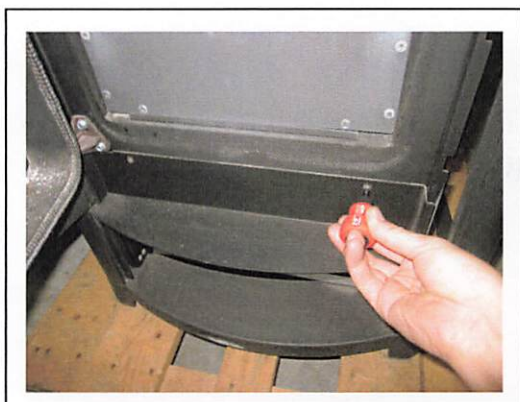
5-4) MCZ CLUB 系 セラミックパネルの取り付けかた



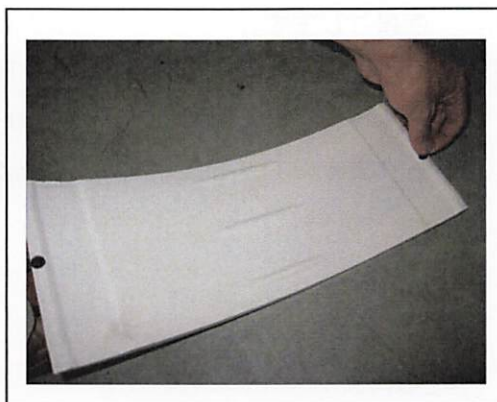
① 本体上部のネジ 2 本を緩める。もしくは外します。



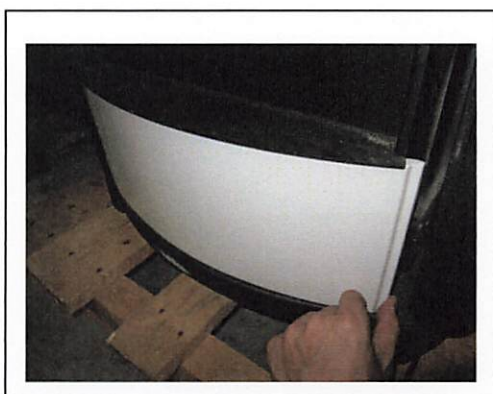
② 前面部の柱を 1 本取り外します。



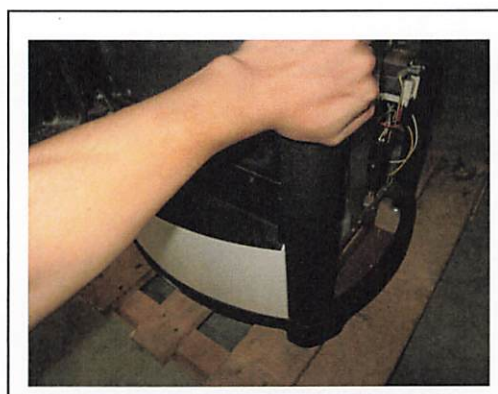
③ 燃烧室扉を開け、前面 2 ケ所のネジ 2 本を緩めます。



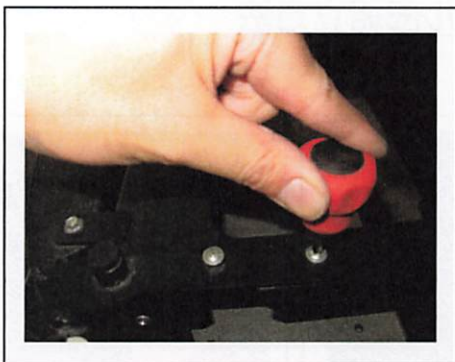
④ 前面下部のセラミックパネルの裏面端の中央にフェルト布シールを 2 か所図の様に貼ります。



⑤ 図の様に前面用パネルを装着します。



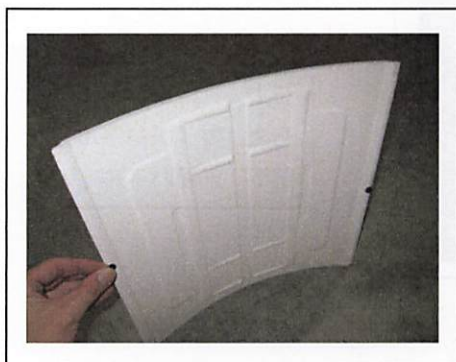
⑥ 下台の穴に合わせながら②で取り外した柱を装着し直します。



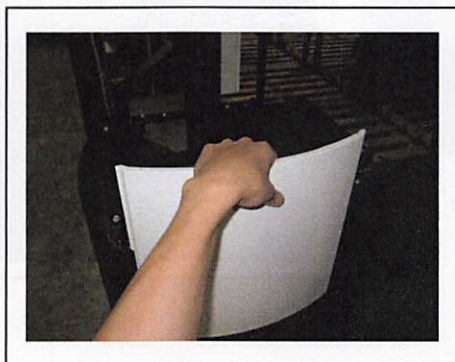
⑦ ①で緩めたネジを締め付けます。



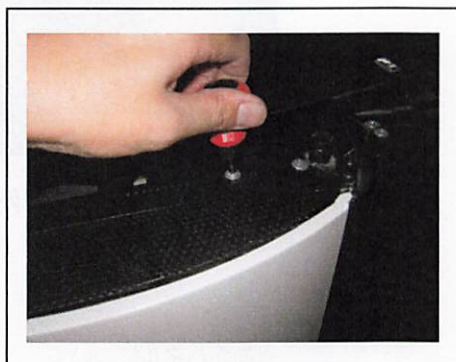
⑧ ③で緩めたネジを締めます。



⑨ 側面パネルの裏側を裏面端の中央にフェルト布シールを2か所図の様に貼ります。



⑩側面パネルを図の様に各3枚ずつ入れます。

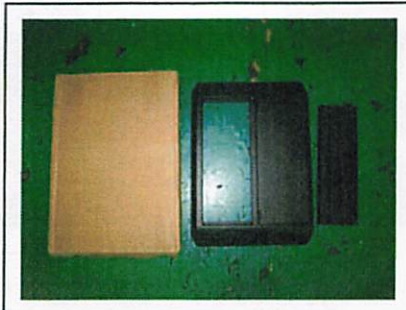


⑪メッシュガード板を嵌めてネジ2か所締め付けます。

5-5) MCZ TOBA パネル部組立方法



1) 段ボール梱包を取り外したとき



左上：天板部パネル
右上：サイドパネル
左下：前面パネル

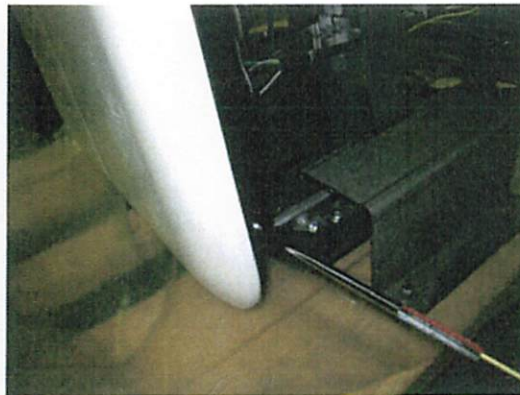
☆前面パネルについて



左図が、表側です。
右図が、裏側で、上下の向きは図の様に
して組付け時は間違えない様にして下さ
い。



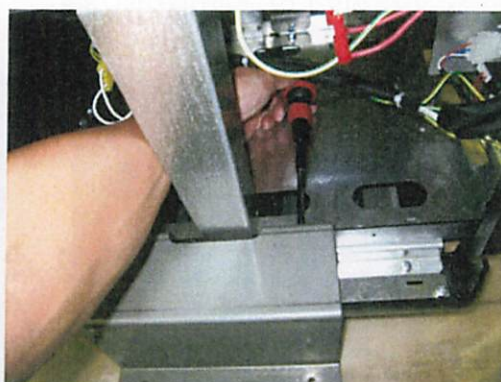
2) 前面パネルの上部 2 か所に付属のネジを
+ドライバーを使用して締めつけます。



3) 2同様に左右 1 か所ずつネジを締めつ
けます。



4) 対角 10mmのソケットレンチで本体固定ブラケットのネジ 2 本を取り外します。

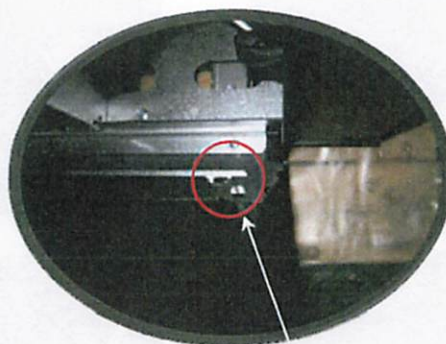


5) +ドライバーで本体固定ブラケットのネジ 2 本を取り外します。

6) 反対側のサイドも同様に取り外します。



7) サイドパネルを両サイド取付ます。



サイドパネルの爪形状を、本体部のスリットに差し込みます。



8) 付属のネジを 2 か所、+ドライバーで締めつけて、サイドパネルを図の様に固定します。

9) 8同様に反対側のサイドパネルも取り付けます。



10) 本体の上に天板パネルを、図の様にサイドパネルから突出している爪形状に天板パネルのスリットを合わせて組み付けます。

天板パネルを組付けた状態図



11) 最後にルーバープレート
を図の様に載せます。

ルーバープレートを載せて、完成。



製品正面



製品側面



製品背面



扉開閉ツール（板状）